

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	心のバリアフリーの推進							款 04	項 01	目 01	事業 018	整理番号	125
現担当課名	保健福祉部管理課				係名		計画調整担当		連絡先 電話番号		3074	昨年度 整理番号	118
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成20年度		分野	05	施策	17	計画事業						
令和7年度 担当課名	保健福祉部管理課							事業評価区分		一般			

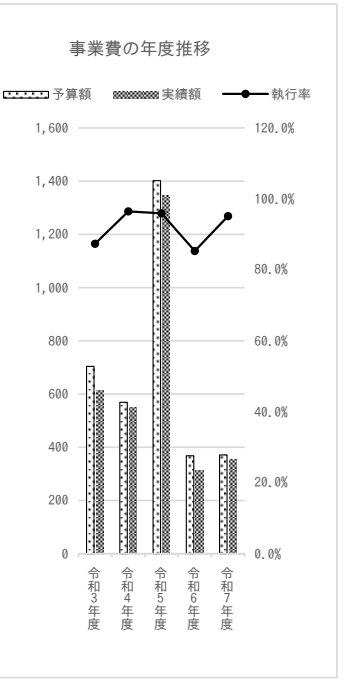
令和7年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
○区民 ○区内で事業を営む個人・法人・団体	杉並区バリアフリー基本構想 杉並区心のバリアフリー協力店実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○高齢者や障害者、小さな子ども連れの方など支援を必要とする方々への理解を深め、みんなが自然に支えあうことができる「心のバリアフリー」を推進するまちづくりを進める。	○チラシ等の配布により、「心のバリアフリー」の考え方の普及啓発を行う。 ○心のバリアフリー協力店（「心のバリアフリー」を心掛けていたり、バリアフリーに配慮した設備を1つ以上備えている「誰もが利用しやすい店」）を普及する。 ○区電子地図サービス「バリアフリーマップ」を通して、心のバリアフリー協力店の位置とバリアフリー設備の情報提供を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
活動指標	啓発用チラシ・ポスター配布数	チラシまたポスターの作成・配布枚数	枚	計画	4,000	8,000	6,000	6,000	
				実績	7,147	5,214	10,012	-	
				達成率	178.7%	65.2%	166.9%	-	
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
達成率					-	-	-	-	
成果指標	心のバリアフリー協力店登録店舗数	バリアフリーに配慮した対応や設備を有している店舗の申請に基づき登録した店舗の数	店舗	計画	1,100	1,020	1,000	1,000	
				実績	1,002	976	964	-	
				達成率	91.1%	95.7%	96.4%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
	「バリアフリーマップ」アクセス数	すぎナビの「バリアフリーマップ」にアクセスした数の合計	件	計画	3,000	1,000	1,000	1,000	
				実績	322	293	245	-	
				達成率	10.7%	29.3%	24.5%	-	
分類	社会成果（課題）指標								

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費		千円	予算額	704	569	1,402	368	371	349
			実績額	615	549	1,345	314	353	-
			執行率	87.4%	96.5%	95.9%	85.3%	95.1%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	8,503	16,686	16,636	16,742	2,567	2,670
			実績額	17,937	16,220	17,663	2,976	2,670	-
			執行率	210.9%	97.2%	106.2%	17.8%	104.0%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	9,207	17,255	18,038	17,110	2,938	3,019
			実績額	18,552	16,769	19,008	3,290	3,023	-
			執行率	201.5%	97.2%	105.4%	19.2%	102.9%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	312	245	186	0	185	0
			実績額	312	245	186	183	185	-
			執行率	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	312	245	186	0	185	0
			実績額	312	245	186	183	185	-
			執行率	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	8,895	17,010	17,852	17,110	2,753	3,019	
		実績額	18,240	16,524	18,822	3,107	2,838	-	
		執行率	205.1%	97.1%	105.4%	18.2%	103.1%	-	



特記事項

--

令和7年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	125
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	チラシ・ポスターによる普及啓発			194	
	その他（ 郵送費ほか				159
取組成果	心のバリアフリー協力店について、要綱に基づき、令和7年7月に対象店舗（497店）に対し更新調査を実施しました。また、12月には商店会を通じた登録勸奨等を実施し、新たに9店舗の登録を行いました。また、区HP掲載の「すぎナビバリアフリーマップ」では、心のバリアフリー協力店の所在地や設備についての情報提供を行いました。心のバリアフリーに関するチラシ・ポスターについては、2種類（「ヘルプマークを知っていますか？」・「聞こえに障害のある方への理解を深めましょう」）を区施設や「杉並区のお知らせ掲示板」へ掲示したほか、商店会への配布により普及啓発を行いました。また、3月に心のバリアフリー協力店周知用チラシを新たに作成しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	心のバリアフリー協力店は、区HPや商店会を通じた登録勸奨等により新規登録店舗は例年同様の規模で増加していますが、廃業や区外への移転、更新調査の結果により登録を抹消した店舗が上回り、年々登録店舗数が減少しています。 バリアフリーマップについては、公開型GIS「すぎナビ」において、心のバリアフリー協力店や各施設等のバリアフリー情報を掲載していますが、区の全ての施設や鉄道などの公共的な施設が網羅されていないほか、表示がわかりにくいなどの課題があるため、他自治体の状況を調べるとともに、関係所管と連携して、バリアフリーマップの機能の充実などについて、今後の方向性を検討する必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者自立支援サービス							款 04	項 01	目 03	事業 003	整理番号	178
現担当課名	障害者施策課				係名 認定・給付係				連絡先 電話番号		1159	昨年度 整理番号	169
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成18年度		分野 05	施策 17	計画事業								
令和7年度 担当課名	障害者施策課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

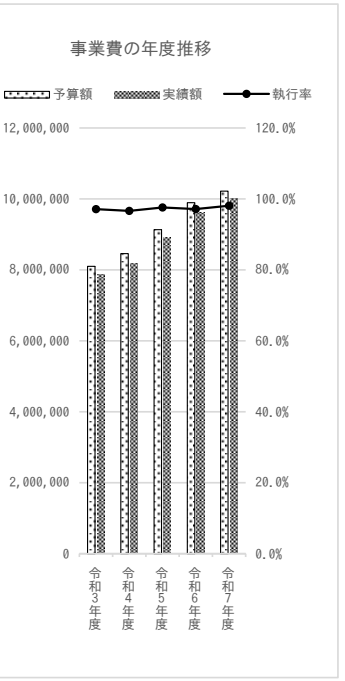
対象	根拠法令等
支援を必要とする障害者（児）	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行細則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者（児）に対し、障害福祉サービス等を適切に支給することで、一人ひとりが地域で安心して、自分らしく生活できることを目指す。	○支援の必要度を客観的に判断するための障害支援区分を認定し、障害者一人ひとりの状況を勘案しながら安心して生活するために必要かつ適切な障害福祉サービスの支給決定を行う。障害福祉サービス費、補装具費などの自立支援給付費の支給を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害福祉サービス支給決定者数		人	計画	3,500	3,600	3,780	3,930
				実績	3,454	3,631	3,845	-
				達成率	98.7%	100.9%	101.7%	-
	補装具費支給件数		件	計画	918	885	842	801
実績				889	793	903	-	
達成率				96.8%	89.6%	107.2%	-	
成果指標	支給決定者のうちサービスを利用した人の割合		%	計画	96	96	96	96
				実績	94.4	93.5	93.7	-
				達成率	98.3%	97.4%	97.6%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	身体障害者手帳所持者のうち、補装具費の支給を受けた人の割合		%	計画	7	7.2	7	7
				実績	7.3	6.54	7.45	-
達成率				104.3%	90.8%	106.4%	-	
分類	行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	8,099,701	8,458,354	9,133,186	9,893,509	10,219,297	10,220,270
			実績額	7,866,442	8,173,075	8,913,243	9,610,613	10,023,290	-
			執行率	97.1%	96.6%	97.6%	97.1%	98.1%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	101,186	105,539	106,886	110,497	122,327	132,665
			実績額	119,889	122,691	131,174	136,040	142,938	-
			執行率	118.5%	116.3%	122.7%	123.1%	116.8%	-
	上記以外の職員	予算額	10,158	9,923	4,781	10,660	8,822	9,321	
		実績額	11,393	8,459	6,853	13,465	9,321	-	
		執行率	112.2%	85.2%	143.3%	126.3%	105.7%	-	
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	8,211,045	8,573,816	9,244,853	10,014,666	10,350,446	10,362,256
			実績額	7,997,724	8,304,225	9,051,270	9,760,118	10,175,549	-
			執行率	97.4%	96.9%	97.9%	97.5%	98.3%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	400	1	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	0.0%	0.0%	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	5,561,335	5,987,635	6,067,088	6,321,927	6,971,295	0
			実績額	5,890,234	5,999,448	6,279,042	6,693,560	0	-
			執行率	105.9%	100.2%	103.5%	105.9%	0.0%	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	5,561,335	5,987,635	6,067,488	6,321,928	6,971,295	0
			実績額	5,890,234	5,999,448	6,279,042	6,693,560	0	-
			執行率	105.9%	100.2%	103.5%	105.9%	0.0%	-
	差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	2,649,710	2,586,181	3,177,365	3,692,738	3,379,151	10,362,256
			実績額	2,107,490	2,304,777	2,772,228	3,066,558	10,175,549	-
			執行率	79.5%	89.1%	87.2%	83.0%	301.1%	-

特記事項



令和7年度 事業実施状況（D o）			整理番号	178
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	障害福祉サービス費等の支給	3,845	人	8,791,096
	補装具費の支給	903	件	99,970
	その他（ 自立支援医療（更生医療）、区分認定審査会実施ほか			1,132,224
取組成果	障害福祉サービス費等の支給については、介護給付、訓練等給付ともに増加傾向が続いています。障害状況や介護者の有無等に限らず、サービス利用の意向を踏まえた適切な支給決定に努めました。障害者の地域生活に必要なサービス利用が滞りなく受けられるよう、支援を継続していきます。 補装具費の支給については、身体機能の補助をする装置の支給や日常生活動作の自立に向けた装具の支給をすることで、より快適な地域生活や日常活動の実現に寄与することができました。			

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	居宅介護などの在宅における障害福祉サービス利用は、以前から需要が多くありましたが、就労移行支援や就労継続支援などの障害者の経済的な自立支援を目指すサービス利用についても需要が増加傾向にあります。就労世帯や子育て中の世帯など障害者の生活状況も多様化する中で、障害者が地域生活を営む上で必要なサービスを適切かつ迅速に利用できるように引き続き取り組んでいく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者の社会参加支援							款 04	項 01	目 03	事業 004	整理番号	179
現担当課名	障害者施策課				係名 管理係				連絡先 電話番号		1142	昨年度 整理番号	170
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成18年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 04 02 07		主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和7年度 担当課名	障害者施策課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

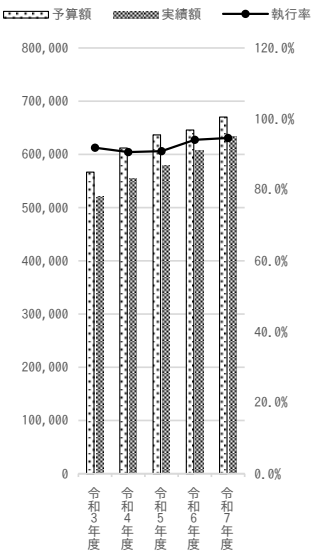
対象	根拠法令等
身体障害者、知的障害者、精神障害者 など	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	○屋外での移動困難な障害者の社会参加を促すためガイドヘルパーを派遣する。 ○意思疎通支援（手話通訳者・要約筆記者派遣等）、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上でサービスを給付または助成する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	移動支援事業年間利用者数		人	計画	1,004	1,067	1,074	1,162
				実績	912	947	1,008	-
				達成率	90.8%	88.8%	93.9%	-
	移動支援事業延利用時間数		時間	計画	162,900	175,136	169,646	179,224
				実績	157,951	160,584	164,932	-
達成率				97.0%	91.7%	97.2%	-	
成果指標	移動支援事業利用率	年間利用者実人数÷年度末移動支援登録者数	%	計画	83	84	85	86
				実績	74.3	74.68	74.72	-
				達成率	89.5%	88.9%	87.9%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	手話通訳者・要約筆記者の派遣回数		回	計画	1,300	1,300	1,300	1,300
				実績	1,048	834	809	-
				達成率	80.6%	64.2%	62.2%	-
分類	行政サービス成果指標							

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
事業費		千円	予算額 566,700 実績額 520,705 執行率 91.9%	611,992 554,794 90.7%	636,606 578,760 90.9%	645,821 607,826 94.1%	670,197 634,177 94.6%	974,378 - -		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額 46,587 実績額 45,970 執行率 98.7%	37,710 44,169 117.1%	45,915 44,869 97.7%	58,681 60,569 103.2%	64,146 59,752 93.2%	74,532 - -		
			上記以外の職員	予算額 11,428 実績額 11,760 執行率 102.9%	13,414 10,740 80.1%	10,298 10,850 105.4%	9,898 15,090 152.5%	8,125 10,057 123.8%	11,774 - -	
				総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額 624,715 実績額 578,435 執行率 92.6%	663,116 609,703 91.9%	692,819 634,479 91.6%	714,400 683,485 95.7%
	受益者負担分 ①	千円		予算額 2,578 実績額 1,846 執行率 71.6%	2,802 2,192 78.2%	2,804 2,406 85.8%	2,999 3,016 100.6%	3,075 3,340 108.6%	5,288 - -	
			国・都からの 補助金 ②	千円	予算額 245,440 実績額 228,966 執行率 93.3%	275,150 243,828 88.6%	270,560 250,770 92.7%	315,990 273,690 86.6%	320,772 278,305 86.8%	444,406 - -
					その他の 補助金等 ③	千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額 248,018 実績額 230,812 執行率 93.1%					277,952 246,020 88.5%	273,364 253,176 92.6%	318,989 276,706 86.7%	323,847 281,645 87.0%
		差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額 376,697 実績額 347,623 執行率 92.3%			385,164 363,683 94.4%	419,455 381,303 90.9%	395,411 406,779 102.9%	418,621 422,341 100.9%

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	179
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	移動支援事業委託	164,932	時間	557,112	
	手話通訳者・要約筆記者派遣	809	回	11,406	
	地域活動支援センター事業（運営：直営1所、補助事業所1所）の実施	2	所	23,127	
	その他（ 社会活動支援、代読・代筆サービスほか			）	
取組成果	移動支援事業については、放課後等デイサービスを通学送迎の対象としたことにより、児童の利用者数が増加しました。事業全体の年間延利用時間は、令和6年度比102.7%となっており、平成18年度の事業開始以降最多の実績となりました。手話の理解促進に向けた取組として、デフリンピック応援イベントにおける手話を知るコーナーの設置や、手話通訳者・要約筆記者派遣事業の令和7年度の派遣回数は809回で目標値の62.2%にとどまりました。3年連続で減少が続いているため、委託事業者の利用状況の確認などを行い現状を把握するとともに、派遣事業についてさらなる周知が必要です。聴覚障害者への情報保障として会議等へ手話通訳者を配置する数については、前年比約108%となっています。これは、民間事業者にも合理的配慮の提供が義務化されたこと等が理由と考えられ、今後も増加することが予想されます。一方で、登録手話通訳者数はここ数年ほぼ横ばいであるため、登録手話通訳者の確保・育成に向けた一層の取組が必要です。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	障害者の社会参加を促進する基盤である移動支援事業は、令和8年6月からの対象者等の拡大により新規利用者が増えると予測しています。一方で、利用率や年間延利用時間の増加率は、ほぼ横ばいとなっているため、利用者のニーズに応えられるよう事業の担い手であるガイドヘルパーの確保・育成が必要です。手話通訳者・要約筆記者派遣事業の令和7年度の派遣回数は809回で目標値の62.2%にとどまりました。3年連続で減少が続いているため、委託事業者の利用状況の確認などを行い現状を把握するとともに、派遣事業についてさらなる周知が必要です。聴覚障害者への情報保障として会議等へ手話通訳者を配置する数については、前年比約108%となっています。これは、民間事業者にも合理的配慮の提供が義務化されたこと等が理由と考えられ、今後も増加することが予想されます。一方で、登録手話通訳者数はここ数年ほぼ横ばいであるため、登録手話通訳者の確保・育成に向けた一層の取組が必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者の日常生活支援							款	04	項	01	目	03	事業	005	整理番号	180
現担当課名	障害者施策課				係名		障害福祉サービス係			連絡先 電話番号		1176		昨年度 整理番号		171	
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分			既定事業					
事業開始	平成18年度		分野		05	施策		17	計画事業								
令和7年度 担当課名	障害者施策課										事業評価区分		一般				

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

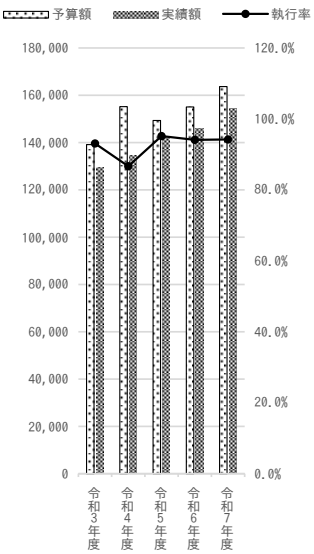
対象	根拠法令等
身体障害者、知的障害者、精神障害者などで、各事業ごとに支援を必要とするもの	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条、 杉並区重症心身障害児者在宅レスパイト等訪問看護事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。	○支援を必要とする障害児者に、日常生活用具の給付・貸与、訪問入浴サービス、日帰りショートステイ等のサービスを給付または提供する。 ○重症心身障害児（者）・医療的ケアを要する障害児に、看護師が自宅に出向いてケアを代替し、介護者の休息と就労支援を図る在宅レスパイト訪問看護事業を実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	日常生活用具の延給付・貸与件数		件	計画	7,000	6,700	6,700	6,700
				実績	6,563	6,621	6,251	-
				達成率	93.8%	98.8%	93.3%	-
	訪問入浴サービス延利用者数		人	計画	2,070	2,050	2,025	1,773
				実績	1,849	1,798	1,604	-
達成率				89.3%	87.7%	79.2%	-	
成果指標	レスパイト訪問看護事業延利用者数		人	計画	600	700	750	1,091
				実績	718	653	1,138	-
				達成率	119.7%	93.3%	151.7%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	日帰りショート延利用件数		件	計画	1,168	1,138	1,050	1,059
				実績	949	907	946	-
				達成率	81.3%	79.7%	90.1%	-
分類	行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	139,142	155,192	149,341	155,058	163,680	162,246
			実績額	129,515	134,502	142,127	145,911	154,205	-
			執行率	93.1%	86.7%	95.2%	94.1%	94.2%	-
			執行率	93.1%	86.7%	95.2%	94.1%	94.2%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	28,485	26,280	24,954	28,294	28,064	30,527
			実績額	30,118	27,865	24,694	33,368	30,260	-
			執行率	105.7%	106.0%	99.0%	117.9%	107.8%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	1,814	3,491	2,207	3,046	3,714	4,415
			実績額	2,021	2,207	3,426	3,714	4,415	-
			執行率	111.4%	63.2%	155.2%	121.9%	118.9%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	169,441	184,963	176,502	186,398	195,458	197,188
			実績額	161,654	164,574	170,247	182,993	188,880	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	2,065	2,040	1,780	1,730	1,948	1,905
			実績額	1,750	1,761	2,340	2,762	1,847	-
			執行率	84.7%	86.3%	131.5%	159.7%	94.8%	-
	国・都からの 補助金	千円	予算額	67,168	69,712	63,648	71,422	71,142	59,724
			実績額	58,518	63,813	77,738	62,612	68,543	-
			執行率	87.1%	91.5%	122.1%	87.7%	96.3%	-
	その他の 補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	69,233	71,752	65,428	73,152	73,090	61,629
			実績額	60,268	65,574	80,078	65,374	70,390	-
			執行率	87.1%	91.4%	122.4%	89.4%	96.3%	-
	差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	100,208	113,211	111,074	113,246	122,368	135,559
			実績額	101,386	99,000	90,169	117,619	118,490	-
			執行率	101.2%	87.4%	81.2%	103.9%	96.8%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	180
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	日常生活用具の給付・貸与	6,251	件	95,721	
	訪問入浴サービス委託	1,604	回	22,456	
	重症心身障害児（者）在宅レスパイト訪問看護事業委託	58	人	24,038	
	日帰りショートステイ事業委託	946	件	11,155	
	その他（ 自動車改造費助成・運転教習費助成、事務費ほか			835	
取組成果	日常生活用具の給付・貸与は、総数6,251件（前年度比94.4%）で、うち排泄管理支援用具（ストマ装具）が5,991件を占めています。令和7年4月から障害児に対する所得制限を撤廃したことにより、これまで自己負担が生じていた世帯の保護者の経済的負担の軽減につながりました。また、電子申請の導入により来庁によらない申請を可能としたほか、一部品目について物価上昇等を踏まえた基準額（助成金額）の見直し等を行いました。日常生活用具の給付における事業者と区との契約方式を、従来の個別契約から事業者登録制度に変更し、事業者の参入手続きの簡素化と区の契約事務の負担軽減を図りました。 重症心身障害児（者）のレスパイト訪問看護事業は利用者数58人、利用回数1,071回で令和6年度のほぼ2倍の利用でした。 訪問入浴サービスは、新規の申請者より死亡などによる利用者の減が上回り、総実施回数は194回減少しました。 日帰りショートステイ事業は利用件数946件（前年比104.3%）、日数換算281.75日（前年比104.1%）と増加しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	日常生活用具の給付・貸与については、引き続き、利用者からの要望等に的確に対応するため、周辺区の動向も踏まえた給付品目の見直しや、さらなる利用者の利便性向上に取り組んでいく必要があります。 重症心身障害児（者）レスパイト訪問看護事業は、保護者の所得による自己負担の撤廃や年間利用上限時間が144時間から288時間に増えたことにより利用が促進され、家族の介護負担が軽減されることが期待されます。 訪問入浴サービスは、重度障害者を対象とした事業であり、死亡や施設入所などにより総実施回数は年々減少していますが、この事業を必要とする方へ確実にサービスを提供できるよう、区ホームページなどでさらなる制度の周知を図ります。 日帰りショートステイ事業については、放課後等デイサービスの拡充に伴い、就学児の利用が減少した一方で、未就学児専用施設の利用が増加しています（前年比142.6%）。新規受給者のうち約30%が未就学児となっていることから、今後も未就学児の利用が増加すると見込まれるため、より利用しやすい運営を検討する必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者利用者負担軽減							款	04	項	01	目	03	事業	006	整理番号	181
現担当課名	障害者施策課					係名	障害福祉サービス係				連絡先 電話番号	1176		昨年度 整理番号	172		
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援									予算事業区分		既定事業				
事業開始	平成19年度		分野	05	施策	17	計画事業										
令和7年度 担当課名	障害者施策課									事業評価区分		一般					

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

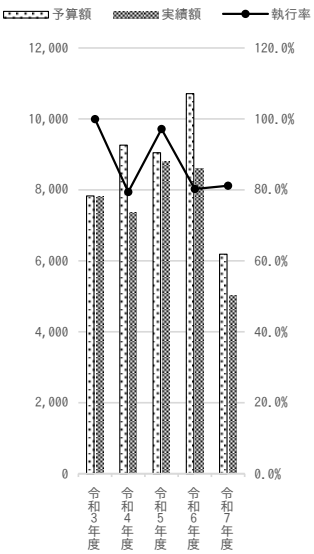
対象	根拠法令等
○補装具が必要な障害児（18歳未満）の保護者、身体障害者手帳（聴覚障害）の交付対象とならない中等度難聴児の保護者	杉並区児童補装具費助成事業実施要綱 杉並区中等度難聴児発達支援事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害児（18歳未満）を養育する保護者の負担を軽減し、必要とするサービスを受けやすくすることで、一人ひとりが地域で安心して自分らしく生きていけることを目指す。	○障害児（18歳未満）の補装具費の保護者負担額を全額助成する。 ○身体障害者手帳（聴覚障害）の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を助成する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名			指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害児補装具費自己負担助成件数			件	計画	250	251	270	300
					実績	294	221	254	-
					達成率	117.6%	88.0%	94.1%	-
				計画	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-	
			達成率	-	-	-	-		
成果指標	障害児補装具費自己負担助成額		障害児（18歳未満）の補装具費の支給にあたり、保護者の負担を軽減した額	千円	計画	6,027	2,554	4,414	3,600
					実績	7,999	6,364	2,528	-
					達成率	132.7%	249.2%	57.3%	-
	分類	行政サービス成果指標							
				計画	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-	
	分類				達成率	-	-	-	-

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	7,829	9,261	9,047	10,712	6,187	6,075
			実績額	7,825	7,355	8,790	8,596	5,022	-
			執行率	99.9%	79.4%	97.2%	80.2%	81.2%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	340	334	166	167	171	178
			実績額	334	166	167	171	178	-
			執行率	98.2%	49.7%	100.6%	102.4%	104.1%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	8,169	9,595	9,213	10,879	6,358	6,253
			実績額	8,159	7,521	8,957	8,767	5,200	-
			執行率	99.9%	78.4%	97.2%	80.6%	81.8%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金	千円	予算額	685	685	750	719	886	1,237
			実績額	685	685	750	719	887	-
			執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.1%	-
	その他の 補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	685	685	750	719	886	1,237
			実績額	685	685	750	719	887	-
			執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.1%	-
	差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	7,484	8,910	8,463	10,160	5,472	5,016
			実績額	7,474	6,836	8,207	8,048	4,313	-
			執行率	99.9%	76.7%	97.0%	79.2%	78.8%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和6年度の事業費の執行率が低い原因として、令和6年4月1日より障害児（18歳未満）の児童補装具費支給の所得制限撤廃となったことから、義務教育就学児補装具費自己負担助成が減となったこと、支給決定した補装具費の完成が遅れ、支払いが翌年度以降に繰り越されたことが挙げられます。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	181
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	障害児補装具費自己負担助成	254	件	2,528	
	中等度難聴児補聴器購入自己負担助成	25	件	2,494	
	その他（			）0	
取組成果	障害児補装具費自己負担助成事業は、令和6年度に18歳まで対象を拡大し、令和7年度から事業名称を「障害児補装具費自己負担助成」に変更し、18歳までの保護者の負担軽減を引き続き実施しました。中等度難聴児補聴器購入自己負担助成事業は、制度の認知度が徐々に高まってきたこともあり、実績件数・事業費ともに増加傾向にあります。また、電子申請の導入により来庁によらない申請を可能とし、利用者の利便性向上を図りました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	障害児補装具費自己負担助成事業は、令和6年4月の児童補装具費支給に係る所得制限撤廃（国制度）により、区独自の自己負担助成の対象者が変動しています。こうした状況を踏まえ、令和7年度からは対象年齢を18歳まで拡大し、これまで義務教育終了後から18歳までの間に生じていた助成の空白期間を解消しました。これに伴い、事業名称を「義務教育就学児補装具費自己負担助成」から「障害児補装具費自己負担助成」に変更しています。障害児を養育する保護者の経済的負担を軽減することを目的として、引き続き乳幼児期から18歳に至るまで、成長過程に応じた補装具の購入・修理費用を全額助成していきます。 中等度難聴児補聴器購入自己負担助成事業は、身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児が対象であるため、対象者の把握が難しいという課題があります。その対策として引き続きホームページ等で周知を行うことで、対象者に情報を届けていきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者福祉の啓発							款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	182	
現担当課名	障害者施策課					係名	管理係			連絡先 電話番号			1142		昨年度 整理番号	173		
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分			既定事業					
事業開始	昭和51年度	実行計画事業			分野	05	施策	17	計画事業		07							
令和7年度 担当課名	障害者施策課											事業評価区分			一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

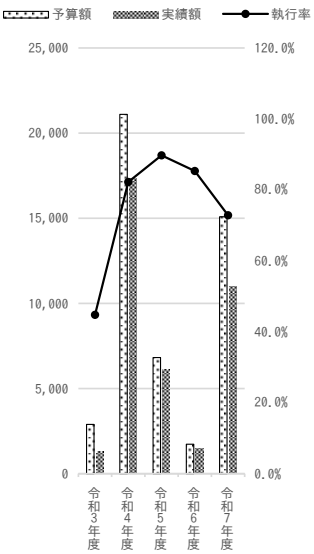
対象	根拠法令等
区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。	障害者基本法第5、7、23条 杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害のある人もない人も共に参加するイベントなどを通じて、全ての人がそれぞれの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す。 ○障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。	○障害者の生活支援サイト「の一まらいふ杉並」を運営する。 ○「障害福祉のしおり」を3年ごとに発行する。 ○「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。 ○障害者基礎調査を3年ごとに実施する。 ○全国在宅障害児・者実態調査を5年ごとに実施する。（都からの委託業務）

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数		組	計画	50	50	50	50
				実績	36	39	42	-
				達成率	72.0%	78.0%	84.0%	-
	「ふれあい美術展」出展数		点	計画	300	300	300	300
				実績	121	118	125	-
達成率				40.3%	39.3%	41.7%	-	
成果指標	障害者生活支援サイト「の一まらいふ杉並」年間アクセス数		件	計画	230,000	270,000	57,000	57,000
				実績	267,375	237,702	48,650	-
				達成率	116.3%	88.0%	85.4%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	ふれあいフェスタ来場者数		人	計画	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	1,268	1,007	1,046	-
				達成率	126.8%	100.7%	104.6%	-
分類	行政サービス成果指標							

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
事業費		千円	予算額 2,894 実績額 1,296 執行率 44.8%	21,101 17,351 82.2%	6,820 6,120 89.7%	1,731 1,477 85.3%	15,088 10,991 72.8%	20,260 - -			
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額 21,258 実績額 20,858 執行率 98.1%	22,594 23,370 103.4%	26,608 23,456 88.2%	22,518 32,513 144.4%	28,568 30,126 105.5%	23,869 - -			
			上記以外の職員	予算額 1,451 実績額 1,470 執行率 101.3%	1,470 1,839 125.1%	1,839 1,523 82.8%	0 0 -	0 0 -	0 - -		
				総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額 25,603 実績額 23,624 執行率 92.3%	45,165 42,560 94.2%	35,267 31,099 88.2%	24,249 33,990 140.2%	43,656 41,117 94.2%	44,129 - -
	財源	受益者負担分 ①		千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 - -	
			国・都からの 補助金 ②		千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	1,017 1,457 143.3%	0 0 -	0 0 -	174 397 228.2%	517 - -
						その他の 補助金等 ③	千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	124 75 60.5%	0 0 -	0 0 -
特定財源 (①+②+③)		千円		予算額 0 実績額 0 執行率 -				1,141 1,532 134.3%	0 0 -	0 0 -	174 397 228.2%
			差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額 25,603 実績額 23,624 執行率 92.3%			44,024 41,028 93.2%	35,267 31,099 88.2%	24,249 33,990 140.2%	43,482 40,720 93.6%

事業費の年度推移



特記事項

事業費の執行率は、「障害者基礎調査業務委託」に係る契約落差金の影響により低くなっています。
成果指標について、区公式ホームページのリニューアルによる集計方法の変更に伴い、令和7年度以降の計画値を変更した。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	182
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	障害者週間事業の開催	1	回	1,390	
	「障害福祉のしおり」作成（郵送費）	15	件	2	
	その他（ 管理事務費、郵送費ほか			）	
取組成果	障害者の社会参加の促進や障害への理解や関心を深める事などを目的として、令和7年12月に区と障害者団体連合会が共催し、ふれあいフェスタ、ふれあい美術展、団体・施設の活動パネル展などの障害者週間事業を実施しました。ふれあいフェスタでは、令和6年度に引き続き協賛事業者を募り、自主財源の確保に努めました。「障害福祉のしおり」は希望する方へ「新旧一覧表」と併せて郵送しました。障害者福祉関係情報に特化した「の一まらいふ杉並」では、障害者が利用しやすいサイト構成、必要な情報をタイムリーに提供できるよう努めました。既存のページについて、AIを活用することで、区民が理解しやすいようなページとなるよう一部変更を行いました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	「ふれあいフェスタ」をはじめとした障害者週間事業については、障害の有無にかかわらずより多くの方に来てもらう必要がある。また、令和6年度から開始した協賛事業者の募集については、より多くの協賛事業者が集まるよう、パンフレットなど協賛者の紹介媒体に工夫する必要がある。「障害福祉のしおり」については、令和8年度は改定年となっている。記載内容については、より使いやすい冊子になるよう他自治体の冊子を参考にしつつ、課内で検討を行います。記事「の一まらいふ杉並」は区公式ホームページのリニューアルに伴い、令和7年1月より外部サイトから内部ページへ変更となり、集計方法は、トップページのみが計上される仕組みとなったため、計画数・実績数の規模が変わっています。引き続き、区民が利用しやすいサイト構成となるよう検討していく必要があります。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者団体への助成							款 04	項 01	目 03	事業 008	整理番号	183
現担当課名	障害者施策課					係名	事業推進係		連絡先 電話番号		1179	昨年度 整理番号	174
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和39年度		分野	05	施策	17	計画事業						
令和7年度 担当課名	障害者施策課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

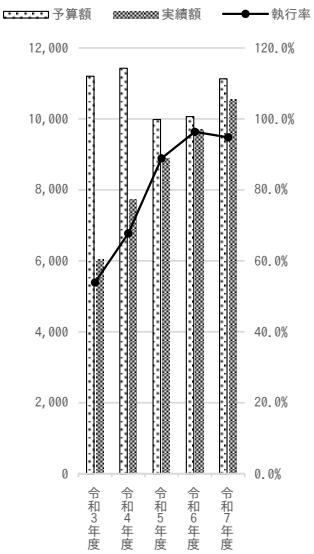
対象	根拠法令等
区内の障害者、一般区民、心身障害者団体	障害者基本法第3条、第4条 杉並区心身障害者団体助成要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。	○心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 ○心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 ○障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	団体の事業開催回数		回	計画	90	90	90	90
				実績	60	59	66	-
				達成率	66.7%	65.6%	73.3%	-
	団体事業活動の参加者数		人	計画	2,271	1,845	1,837	1,784
				実績	1,775	1,760	1,656	-
				達成率	78.2%	95.4%	90.1%	-
成果指標	活動参加者数対前年度比		%	計画	96.7	96.6	99.5	97
				実績	120.6	99	94	-
				達成率	124.7%	102.5%	94.5%	-
	分類	行政サービス成果指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	11,203	11,428	9,983	10,065	11,130	12,322
			実績額	6,038	7,741	8,874	9,699	10,552	-
			執行率	53.9%	67.7%	88.9%	96.4%	94.8%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	8,503	8,343	5,823	7,534	7,700	8,010
			実績額	8,343	5,823	5,860	5,989	6,408	-
			執行率	98.1%	69.8%	100.6%	79.5%	83.2%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	19,706	19,771	15,806	17,599	18,830	20,332
			実績額	14,381	13,564	14,734	15,688	16,960	-
			執行率	73.0%	68.6%	93.2%	89.1%	90.1%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	19,706	19,771	15,806	17,599	18,830	20,332
			実績額	14,381	13,564	14,734	15,688	16,960	-
			執行率	73.0%	68.6%	93.2%	89.1%	90.1%	-

事業費の年度推移



特記事項

--

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	183
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	心身障害者団体への運営経費の助成	14	団体	9,411	
	ふれあい運動会	1	回	1,134	
	その他（ 消耗品の購入、郵券購入ほか			）	
取組成果	心身障害者団体への運営事務経費等を一部助成することにより、障害者の方々の社会参加機会の提供につなげています。令和7年度は14団体に助成を行いました。ふれあい運動会は毎年10月に実行委員会が主催し、障害の有無に関わらず参加者が交流することで、障害者の積極的な社会参加の推進や相互理解に寄与しています。令和7年度は、令和6年度に引き続き半日開催とし、玉入れ、パン取り競争、対抗リレーなどを実施しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	ふれあい運動会については、参加者の満足度が上がるように開催規模、競技内容について、引き続き実行委員会による検討結果を踏まえ実施していく必要があります。また、暑さが残る中での開催が続いており、熱中症予防について対応を検討していく必要があります。さらに、令和7年度は雨天での実施のため、参加者の待機時間が長くなるなど競技進行に課題が見られました。今後は雨天時に実施する競技内容について、実行委員会で検討していく必要があります。 心身障害者団体については、高齢化などの理由により加入者数は減少しています。障害者団体連合会やその他関係機関と連携し、障害の有無に関わらない交流の場を広げる取組により障害者の社会参加の機会を広げるとともに、団体活動への理解や加入者増につなげていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団							款 04	項 01	目 03	事業 011	整理番号	184
現担当課名	障害者施設支援課					係名 就労支援係		連絡先 電話番号		2278	昨年度 整理番号	175	
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成10年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 02							
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

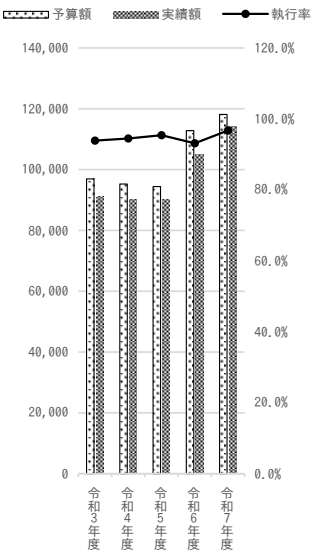
対象	根拠法令等
公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団	杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例 障害者の雇用の促進に関する法律
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行うことができるよう、財団運営の安定に資する。	○公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。 ○区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	新規利用登録者数	新規就労支援利用登録者数＋新規定着支援利用登録者数	人	計画	100	100	100	100
				実績	104	91	96	-
	職場開拓訪問企業数	区内近隣で障害者雇用の促進に向け訪問等を行った企業数	社	達成率	104.0%	91.0%	96.0%	-
				計画	60	25	25	25
成果指標	就職者数	事業団の登録者で、当該年度中に一般企業へ就職した人数	人	実績	14	39	49	-
				達成率	23.3%	156.0%	196.0%	-
	分類 行政サービス成果指標			計画	90	60	70	80
				実績	32	43	46	-
	職場開拓企業数	職場開拓訪問を実施し、区内近隣で障害者を新たに雇用または職場実習を受け入れた企業数	社	達成率	35.6%	71.7%	65.7%	-
				計画	1	2	2	2
	分類 行政サービス成果指標			実績	1	4	4	-
				達成率	100.0%	200.0%	200.0%	-

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	千円	予算額	96,935	95,260	94,416	112,827	118,143	134,696	-
		実績額	91,007	90,006	90,080	105,079	114,294	-	-
		執行率	93.9%	94.5%	95.4%	93.1%	96.7%	-	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	予算額	10,204	11,513	10,980	10,882	10,609	10,680	-
		実績額	8,927	10,980	11,050	10,609	19,905	-	-
		執行率	87.5%	95.4%	100.6%	97.5%	187.6%	-	-
	上記以外の職員	予算額	0	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	981	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）	千円	予算額	107,139	106,773	105,396	123,709	128,752	145,376	-
		実績額	99,934	100,986	101,130	115,688	135,180	-	-
		執行率	93.3%	94.6%	96.0%	93.5%	105.0%	-	-
財源	受益者負担分	予算額	0	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	予算額	2,378	2,306	2,429	2,267	2,705	2,879	-
		実績額	2,424	2,324	2,345	2,682	2,806	-	-
		執行率	101.9%	100.8%	96.5%	118.3%	103.7%	-	-
	その他の補助金等	予算額	0	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	予算額	2,378	2,306	2,429	2,267	2,705	2,879	-
		実績額	2,424	2,324	2,345	2,682	2,806	-	-
		執行率	101.9%	100.8%	96.5%	118.3%	103.7%	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	104,761	104,467	102,967	121,442	126,047	142,497	-
		実績額	97,510	98,662	98,785	113,006	132,374	-	-
		執行率	93.1%	94.4%	95.9%	93.1%	105.0%	-	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	184
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	運営費助成			14,901	
	区市町村就労支援事業委託			99,393	
	その他（			）0	
取組成果	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団における就労支援及び定着支援の新規利用登録者は96人（前年度91人）、職場開拓訪問企業は49件（前年度39件）で前年度を上回る実績となりました。また、職場開拓訪問等により障害者雇用の理解促進を図り、区内近隣企業の4社が新たに障害者の雇用や職場実習の受け入れに結びつきました。また、令和6年度から開始した重度障害者スタートアッププログラムについては、16人が利用し、3人が就労につながりました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	活動指標である新規利用登録者数及び職場開拓訪問企業数については前年度を上回る実績がありました。令和8年7月より障害者の法定雇用率の引き上げが予定されており、更なる新規利用登録者数等の増加に対して、オンラインでの相談対応等により、効率的かつ効果的に就労支援を進めていく必要があります。 なお、成果指標である就職者数については、前年度より3人増加し46人となりましたが、計画値を下回っており、障害者一人ひとりの能力や特性に応じたきめ細やかな就労支援の充実が求められます。また企業に対しても、障害者雇用に対する理解促進に向けて積極的な働きかけが引き続き必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	区立障害者集会施設の運営							款 04	項 01	目 03	事業 027	整理番号	187
現担当課名	障害者施設支援課					係名	管理係			連絡先 電話番号	内線2274	昨年度 整理番号	178
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和57年度	実行計画事業			分野 05	施策 17	計画事業 07						
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
○障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者 ○はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、自営や雇用が困難な人、視覚障害者及び家族、ボランティア団体 ○和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者福祉会館及び障害者交流館で、障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に部屋を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加、相互交流を促す。 ○視覚障害者会館で、三療（はり、きゅう、マッサージ）の免許を有する視覚障害者で、自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、自立の支援を行う。 ○障害者福祉会館及び視覚障害者会館で、教養・レクリエーション事業として点字やICT講習会、生活支援講座などの講習会を行い、障害者の日常生活の質の向上を図る。	○障害者福祉会館の維持管理及び事業運営等の業務を杉並障害者福祉会館運営協議会に委託し、福祉会館秋フェスタ等行事、各種教室事業等自主事業への補助を行う。 ○視覚障害者会館の維持管理及び運営等の業務をNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会に委託し、三療（はり、きゅう、マッサージ）の施術の場の提供による視覚障害者への就労支援を行うほか、ICT講習会、点字教室、講演会等を実施する。 ○和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等の業務を杉並区障害者団体連合会に委託し、部屋の貸し出し等を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

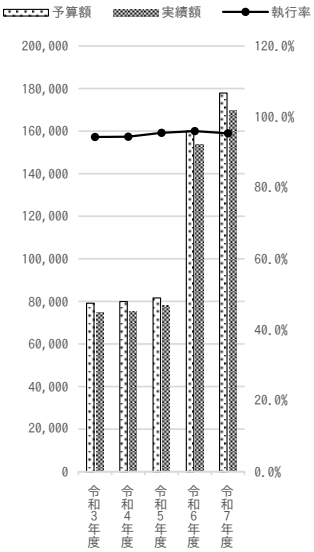
指標名			指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害者福祉会館会議室の利用件数			件	計画	4,000	4,000	4,000	3,500
					実績	3,100	3,170	3,011	-
					達成率	77.5%	79.3%	75.3%	-
	障害者福祉会館会議室の利用延べ人数		人	計画	35,000	40,000	40,000	39,000	
				実績	35,434	38,808	36,765	-	
達成率				101.2%	97.0%	91.9%	-		
成果指標	障害者福祉会館会議室の開館日に対する利用率		各会議室の利用件数÷年間開館日数×100の平均値	%	計画	60	70	70	65
					実績	59.7	61.3	58.2	-
					達成率	99.5%	87.6%	83.1%	-
	分類	行政サービス成果指標							
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-
分類									

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	79,154	79,937	81,621	160,047	177,881	200,750
			実績額	74,679	75,478	77,962	153,647	169,655	-
			執行率	94.3%	94.4%	95.5%	96.0%	95.4%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	4,235	4,422	2,745	6,362	7,101	7,120
			実績額	2,794	2,745	2,762	12,313	7,556	-
			執行率	66.0%	62.1%	100.6%	193.5%	106.4%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	83,389	84,359	84,366	166,409	184,982	207,870
			実績額	77,473	78,223	80,724	165,960	177,211	-
			執行率	92.9%	92.7%	95.7%	99.7%	95.8%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	550	550
			実績額	0	0	0	0	657	-
			執行率	-	-	-	-	119.5%	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	8,706	13,871	15,748
			実績額	0	0	0	9,144	12,624	-
			執行率	-	-	-	105.0%	91.0%	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	-	0
			実績額	0	0	0	-	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	8,706	14,421	16,298
			実績額	0	0	0	9,144	13,281	-
			執行率	-	-	-	105.0%	92.1%	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	83,389	84,359	84,366	157,703	170,561	191,572
			実績額	77,473	78,223	80,724	156,816	163,930	-
			執行率	92.9%	92.7%	95.7%	99.4%	96.1%	-

特記事項

各集会施設の人件費が増えたため、事業費が大幅に増加しています。また、障害者福祉会館の利用者送迎バスについて、原油価格の高騰及び円安の影響を受け、燃料価格は高止まりが続き、車両維持整備費用も上がったため、委託金が増額となりました。さらに、最低賃金の引上げや労働報酬下限額の制定、人材維持継続も課題となっていることから、事業費が増加しています。

事業費の年度推移



令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	187
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	障害者福祉会館管理運営委託	1	所	63,843	
	障害者福祉会館送迎用バス運行業務委託	1	所	27,984	
	視覚障害者会館管理運営委託	1	所	20,408	
	和田及び高円寺障害者交流館管理運営委託	2	所	53,614	
	その他（ 障害者福祉会館各種催物助成、運営協議会運営補助、会館運営事務費			）	
取組成果	障害者福祉会館については、各種教室や行事、各種講習会を前年度とほぼ同回数実施しましたが、会議室の利用件数が159件、会議室の利用者数が2,043人、会議室の利用率が3.1%減少しました。視覚障害者会館については、講習会・三療施術ともに前年度とほぼ同回数実施し、講習会参加者数は25人減少しましたが、三療施術利用者数は109人増加しました。和田及び高円寺障害者交流館の会議室等の利用者数については、和田障害者交流館は276人減少しましたが、高円寺障害者交流館は4,592人増加しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	障害者福祉会館では、会議室等の貸し出しや障害者の自立・社会参加促進事業を実施しています。会議室等の貸し出しは、利用率が6割に留まっており、利用率の向上が課題です。また、社会参加促進事業は、杉並区登録手通し者の確保・育成するため内容の充実を図る必要があります。このことから、情報収集や分析に努め、ニーズや事業の検討・実施に努めていきます。視覚障害者会館は、盲人ホームに位置付けられており、視覚障害者の自立更生を図る施設ですが、三療施術者が固定化しており、また、施術室もスペースが限られていることから、新規施術者を多く受け入れることが難しい状況にあります。三療については、視覚障害者以外でも行っている事業所が増え、また、立地の影響もあり、施術利用者数の大幅な増加は見込めません。建物の老朽化も踏まえ、今後のあり方についても検討する必要があります。また、デジタル技術は、日々進歩していることから、デジタルデバイド対策として、時代に合わせた講習会の実施が求められています。和田及び高円寺障害者交流館は、障害者の福祉の増進のため設置している施設であり、障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流や余暇活動の場としての役割を促進していく必要があります。高円寺障害者交流館は、障害者団体等以外に目的外使用として一般区民にも開放していますが、和田障害者交流館は、目的外使用を行っておらず、立地条件等の影響もあり、利用率が著しく低くっており、利用率の向上を図る必要があります。また、併設する和田小学校とともに、老朽化も進んでいることから、今後のあり方についても検討していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者の入所・通所施設の運営助成							款 04	項 01	目 03	事業 033	整理番号	189
現担当課名	障害者施設支援課					係名	管理係		連絡先 電話番号		2274	昨年度 整理番号	180
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成21年度		分野	05	施策	17	計画事業		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

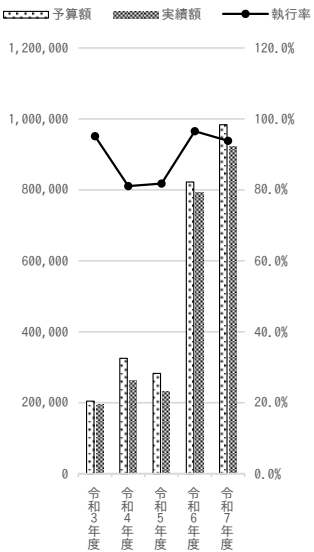
対象	根拠法令等
障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者総合支援法に基づき、各障害福祉サービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と円滑な運営を図る。	○事業所の運営経費、送迎サービス費用、施設の借り上げ費、利用者の交通費及び給食費、医療的ケアにかかる経費、重度障害者の支援のための人件費の全部又は一部を法人に補助する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	送迎サービス支援対象施設数		所	計画	7	7	6	5
				実績	5	5	6	-
				達成率	71.4%	71.4%	100.0%	-
	日中活動系サービス推進事業対象施設数		所	計画	37	37	38	38
				実績	37	37	38	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標	送迎サービス平均利用者数		人	計画	109	71	63	48
				実績	49	50	52	-
				達成率	45.0%	70.4%	82.5%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	日中活動系サービス推進事業対象施設通所者数		人	計画	1,222	1,196	1,269	1,289
				実績	1,364	1,359	1,391	-
				達成率	111.6%	113.6%	109.6%	-
	分類	行政サービス成果指標						

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費	千円	予算額	204,491	325,252	282,694	822,192	983,654	995,233	
		実績額	194,534	263,671	231,177	793,722	923,002	-	
		執行率	95.1%	81.1%	81.8%	96.5%	93.8%	-	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	3,346	2,670	6,405	19,002	8,898	8,900
			実績額	3,166	6,405	6,446	8,898	9,434	-
			執行率	94.6%	239.9%	100.6%	46.8%	106.0%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	363	368	736	1,904	1,393	1,472
			実績額	368	736	799	1,393	1,472	-
			執行率	101.4%	200.0%	108.6%	73.2%	105.7%	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	208,200	328,290	289,835	843,098	993,945	1,005,605
実績額	198,068		270,812	238,422	804,013	933,908	-		
執行率	95.1%		82.5%	82.3%	95.4%	94.0%	-		
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	302,402	340,764	378,612
			実績額	0	67,564	0	350,081	356,057	-
			執行率	-	-	-	115.8%	104.5%	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	302,402	340,764	378,612
			実績額	0	67,564	0	350,081	356,057	-
			執行率	-	-	-	115.8%	104.5%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	208,200	328,290	289,835	540,696	653,181	626,993	
		実績額	198,068	203,248	238,422	453,932	577,851	-	
		執行率	95.1%	61.9%	82.3%	84.0%	88.5%	-	

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度に新規開設した重度障害者の生活介護事業所に対して、施設運営の安定化のための補助金を支給したことや、障害者施設への物価高騰対策臨時給付金を支給したことにより、事業費が増加しています。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	189
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	送迎サービス支援事業の実施	6	所	4,182	
	日中活動系サービス推進事業の実施	38	所	309,079	
	交通費及び給食費助成	37	所	46,515	
	施設借上費助成	17	所	115,700	
	その他（ 重度障害者通所施設整備・運営費、ショートステイ事業等運営費、事務費等 ）				447,526
取組成果	障害者施設への助成を通じて、施設の円滑な運営と障害者の事業所での活動の支援をしました。 日中活動系サービス推進事業補助金について、令和7年度に新規に開設した事業所に新たに交付し、交付施設数は令和6年度から1件増加しました。 送迎費助成及び交通費助成については、各1施設から新規の申請があったものの、令和6年度に申請していた施設のうち、令和7年度において各1件ずつ申請がなかったことから、助成金を交付した事業所数は令和6年度と同数でした。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	施設借上費助成については、新規開設事業所を家賃補助の対象外としており、新規に開設した事業所の一部から公平性について意見が出ていることから、当該助成事業の取り扱いについて検討する必要があります。 障害者施設では、利用者の高齢化に伴い、重度障害者の割合や医療的ケアを必要とする利用者の増加が見込まれています。それに伴い、自主通所の困難な方の増加により、送迎サービスの需要が高まっています。一方で、送迎を担う人材の不足や人件費や物価高騰などによる送迎費の高騰も課題となっています。 また、特別支援学校の卒業生や中途障害者等の日中活動の場の確保のため、新規に施設を整備することにより、運営費などへの補助金は増加が想定されます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者の就労支援事業							款	04	項	01	目	03	事業	034	整理番号	190
現担当課名	障害者施設支援課					係名	就労支援係			連絡先電話番号			2278		昨年度整理番号	181	
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分			既定事業				
事業開始	平成16年度	実行計画事業			分野	05	施策	17	計画事業		02						
令和7年度担当課名	障害者施設支援課									事業評価区分			一般				

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

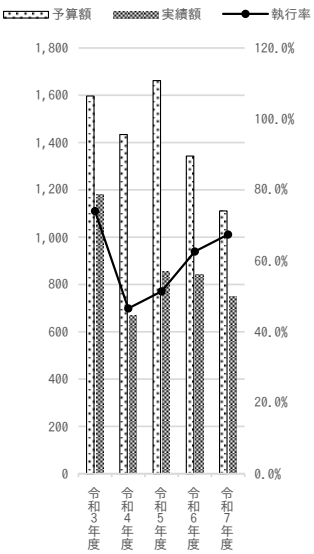
対象	根拠法令等
就労を希望する障害者及び庁内で働く障害者職員	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者職場実習実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取組や支援を行い一般就労を進めていく。 ○障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。 ○庁内で働く障害者職員が安心して働き続けられる環境を整える。	○就労を希望する障害者に対し、杉並区障害者雇用支援事業団と連携して実習の場を提供する。 ○障害者施設の工賃アップを目的とし、企業等からの仕事受注、自主製品の共同開発、広報活動等に取り組む区内就労継続支援事業所等から構成される「すぎなみ仕事ねっと」へ補助を行う。 ○庁内で働く障害者職員等に対し、スキルアップ等の研修を実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	職場実習受入先数		所	計画 12 実績 11 達成率 91.7%	13 13 100.0%	14 13 92.9%	15 - -
	すぎなみ仕事ねっと定例会への参加延べ人数		人	計画 330 実績 359 達成率 108.8%	370 330 89.2%	370 336 90.8%	370 - -
	職場実習を行った障害者数		人	計画 55 実績 20 達成率 36.4%	55 24 43.6%	40 20 50.0%	40 - -
	分類 行政サービス成果指標						
成果指標	区内障害者施設の平均工賃	区内就労継続支援B型事業所の総工賃額÷事業所開設日1日あたりの平均利用者人数÷12月【国が定める算式】	円	計画 15,563 実績 16,243 達成率 104.4%	16,320 23,492 143.9%	23,534 24,592 104.5%	25,821 - -
	分類 行政サービス成果指標						

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	1,597	1,434	1,662	1,343	1,111	1,275
			実績額	1,182	668	854	841	749	-
			執行率	74.0%	46.6%	51.4%	62.6%	67.4%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	15,305	25,368	30,734	30,487	24,812	33,820
			実績額	17,854	30,684	30,989	29,922	22,134	-
			執行率	116.7%	121.0%	100.8%	98.1%	89.2%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	7,256	3,675	0	3,807	4,643	9,812
			実績額	7,350	6,768	1,599	6,965	4,415	-
			執行率	101.3%	184.2%	-	183.0%	95.1%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	24,158	30,477	32,396	35,637	30,566	44,907
			実績額	26,386	38,120	33,442	37,728	27,298	-
			執行率	109.2%	125.1%	103.2%	105.9%	89.3%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	① 国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	295	389
			実績額	0	0	0	324	295	-
			執行率	-	-	-	-	100.0%	-
	② その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	③ 特定財源	千円	予算額	0	0	0	0	295	389
			実績額	0	0	0	324	295	-
			執行率	-	-	-	-	100.0%	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	24,158	30,477	32,396	35,637	30,271	44,518
			実績額	26,386	38,120	33,442	37,404	27,003	-
			執行率	109.2%	125.1%	103.2%	105.0%	89.2%	-

事業費の年度推移



特記事項

障害者職場実習者の実績数の減及び障害者職員の定着支援における報償費の執行残により、事業費の執行率が67.4%となりました。なお、障害者職員の定着支援にかかる研修の一部については、講師を公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団の職員としたため、報償費の一部の執行は不要となりました。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	190
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	障害者職場実習の実施	20	人	91	
	障害者施設の工賃アップ支援			553	
	障害者職員の定着支援			105	
	その他（	）			0
取組成果	障害者職場実習については、一般就労へのイメージづくりとなる体験型・短時間型の実習を16人、実践的な経験やスキルアップを図る実践型の実習を4人、合計20人が実習を行いました。また、実習者の受入先は、1所が新規に受入を開始したものの、1所は区外移転したため13所となりました。 障害者施設の工賃アップ支援では、「すぎなみ仕事ねっと」の加盟施設との協働による区役所内での販売会を定期的に開催したほか、区内の優先調達を推進するため、各部署への周知等を強化し、調達額の向上につなげた結果、平均工賃月額の前年度を1,100円上回る24,592円となりました。 区内で働く障害者職員の職場定着については、障害者職員への合同研修会を開催するとともに、民間企業における職場定着の先進的な取組事例等を共有する配属課向け情報共有会を行いました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	障害者職場実習については、実習を通じて「一般就労のイメージがついた。」「これまでよりも一般就労がしたい。」との声があります。引き続き、障害者職場実習の周知や実習受入先の拡大を進め、より多くの障害者に就労体験を提供していく必要があります。 障害者施設の工賃アップ支援については、「すぎなみ仕事ねっと」加盟施設（令和7年度末37施設加盟）における共同販売会、共同受注等の取組の結果、平均工賃月額は前年度を上回りましたが、更なる受注の拡大や売上額の増加に向けて、「すぎなみ仕事ねっと」の取組や販売会等の周知を区のSNS等を有効に活用していきます。 区内で働く障害者職員の職場定着については、障害者職員への研修や配属課向け情報共有会等を通じて、障害者職員の能力が最大限発揮できるような環境づくりを進める必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者グループホームの支援						款 04	項 01	目 03	事業 036	整理番号	191
現担当課名	障害者施策課				係名 認定・給付係				連絡先 電話番号	1159	昨年度 整理番号	182
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業	
事業開始	平成8年度		分野 05	施策 17	計画事業							
令和7年度 担当課名	障害者施策課							事業評価区分		一般		

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

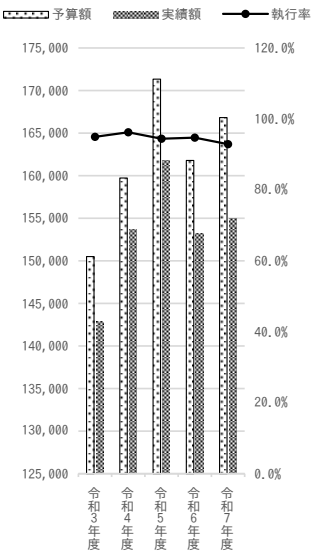
対象	根拠法令等
グループホームを運営する社会福祉法人、グループホームを利用している障害者等	杉並区障害者グループホーム等支援事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者が地域社会で自立した生活を送る場であるグループホームが安定的・継続的に運営されるように支援する。	○精神障害者グループホームを運営する社会福祉法人等に対し、運営経費の一部を支給する。 ○グループホームを利用する障害者への家賃助成を行う。 ○グループホーム相互のネットワークを構築するための支援を実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	グループホーム利用者数	杉並区内グループホームの利用者数	人	計画	330	345	372	421
				実績	324	350	401	-
				達成率	98.2%	101.4%	107.8%	-
	区内運営費支給施設（ユニット）数		所	計画	15	23	33	42
				実績	20	29	38	-
				達成率	133.3%	126.1%	115.2%	-
成果指標	通過型グループホームから退所し、地域で生活を始めた人数		人	計画	15	15	15	15
				実績	12	8	5	-
				達成率	80.0%	53.3%	33.3%	-
	分類	行政サービス成果指標						
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
	分類							

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
事業費		千円	予算額 実績額 執行率	150,500 142,901 95.0%	159,727 153,713 96.2%	171,339 161,778 94.4%	161,789 153,251 94.7%	166,822 154,944 92.9%	187,272 - -		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額 実績額 執行率	6,802 4,172 61.3%	4,172 4,159 99.7%	4,159 4,186 100.6%	10,882 21,989 202.1%	17,112 15,397 90.0%	14,240 - -		
			上記以外の職員	予算額 実績額 執行率	7,619 7,718 101.3%	7,718 7,356 95.3%	7,356 7,614 103.5%	3,807 4,643 122.0%	6,036 4,906 81.3%	4,906 - -	
				総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額 実績額 執行率	164,921 154,791 93.9%	171,617 165,228 96.3%	182,854 173,578 94.9%	176,478 179,883 101.9%	189,970 175,247 92.2%
	受益者負担分 ①	千円		予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 - -	
			国・都からの 補助金 ②	千円	予算額 実績額 執行率	11,380 11,580 101.8%	12,030 12,630 105.0%	11,720 11,721 100.0%	1,200 2,740 228.3%	1,350 0 0.0%	0 - -
					その他の 補助金等 ③	千円	予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額 実績額 執行率					11,380 11,580 101.8%	12,030 12,630 105.0%	11,720 11,721 100.0%	1,200 2,740 228.3%	1,350 0 0.0%
		差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額 実績額 執行率			153,541 143,211 93.3%	159,587 152,598 95.6%	171,134 161,857 94.6%	175,278 177,143 101.1%	188,620 175,247 92.9%

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	191
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	精神障害者グループホーム運営助成（ユニット数）	130	所	89,634	
	身体障害者、知的障害者グループホーム入居者への家賃助成	250	人	60,684	
	その他（ 地域移行支援・定着化支援事業ほか			）	
取組成果	4,626				
精神障害者グループホーム運営助成については、助成対象のユニット数が前年度比1.2倍程度の伸び率となりました。物価や地価が高い都市部でグループホームを運営する事業者へ施設借上費を助成することで、経済的に安定した運営の一助及び入居者の家賃負担の軽減に努めました。 身体及び知的障害者向けのグループホームについては、前年度とほぼ同程度の助成対象者で推移しました。入居者への家賃助成を行うことで、日常生活に必要な福祉サービスを受けながらグループホームへの入居が可能になるなど、障害者が地域における生活の場を選択する上での一助となっています。					

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	精神障害者グループホームについては、利用者数が増加している一方で通過型グループホームからの地域生活移行者数が前年度を下回っています。地域での自立した生活を目指す精神障害者が、計画的かつ着実に地域生活への移行と定着が実現できるよう、適切な支援体制の充実等に取り組む必要があります。 身体及び知的障害者を対象としたグループホームの家賃助成は、障害者総合支援法に規定される国の制度と東京都の補助制度に加えて、杉並区単独で加算して助成しています。また、本事業は入居者の所得額が一定以下の場合に助成対象となり、令和8年度より工賃収入を所得から除外する運用に変更します。そのため例年以上に助成対象者と助成金の実績額が増加することを想定しています。障害者がグループホームを利用し、継続して地域生活を営む上で家賃助成は大変重要であることから、利用者数の推移に合わせて事業を継続していく必要があります。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者の権利擁護の推進						款 04	項 01	目 03	事業 037	整理番号	192
現担当課名	障害者施策課				係名			連絡先 電話番号			昨年度 整理番号	183
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成27年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 06			主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度 担当課名	障害者施策課						事業評価区分			一般		

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

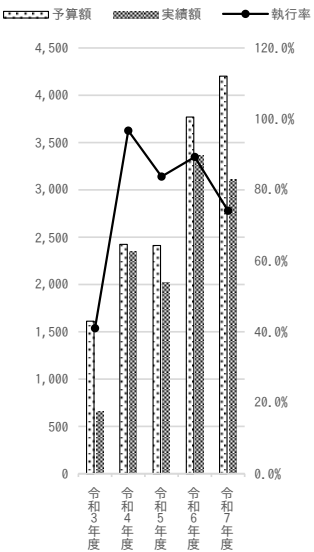
対象	根拠法令等
区民、区職員、民間事業者	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者差別の禁止や合理的配慮の提供など障害者の権利擁護に関する理念の普及に努める。 ○障害者に対する虐待の未然防止のため、地域における支援のネットワークを構築するとともに、必要な福祉サービスの利用援助など養護者等の負担軽減を図る。	○障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、杉並区障害者権利擁護・共生社会推進連絡会を開催し、杉並区内における合理的配慮の推進、障害理解の促進について広く意見を徴収する。 ○区民及び民間事業者等に対し、障害者差別の禁止や合理的配慮など障害者の権利擁護に関する普及啓発を行う。 ○区職員が適切な区民対応をできるよう、職員対応要領の周知や研修などを行う。 ○障害者虐待防止法に基づき、通報等を受理し、事実確認をするとともに個々の状況に応じて対応し、支援機関につなぐなど継続的な支援を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	区民・職員・関係機関向け講演会・研修会の実施回数		回	計画	5	5	5	5
				実績	4	7	6	-
				達成率	80.0%	140.0%	120.0%	-
	共生社会しかけ隊を実施した施設数		所	計画	13	16	16	17
				実績	13	16	16	-
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-				
成果指標	講演会・研修会参加者数	区民・職員・関係機関向け講習会・研修会（障害者虐待防止研修含む）	人	計画	300	300	300	300
	実績			344	432	461	-	
	達成率			114.7%	144.0%	153.7%	-	
	分類	行政サービス成果指標	参加者数					
	街で障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合	区民意向調査による	%	計画	48	84	85	86
				実績	76	77.7	75.8	-
				達成率	158.3%	92.5%	89.2%	-
	分類	区民満足度指標						

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	1,612	2,424	2,412	3,770	4,202	4,690
			実績額	661	2,344	2,020	3,366	3,115	-
			執行率	41.0%	96.7%	83.7%	89.3%	74.1%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	31,102	23,022	25,452	36,079	31,401	31,239
			実績額	21,354	24,620	28,069	36,277	30,527	-
			執行率	68.7%	106.9%	110.3%	100.5%	97.2%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	363	368	0	381	464	491
			実績額	368	0	381	464	491	-
			執行率	101.4%	0.0%	-	121.8%	105.8%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	33,077	25,814	27,864	40,230	36,067	36,420
			実績額	22,383	26,964	30,470	40,107	34,133	-
			執行率	67.7%	104.5%	109.4%	99.7%	94.6%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	1,070	928	939	1,336	1,736	3,524
			実績額	1,068	928	939	1,325	1,150	-
			執行率	99.8%	100.0%	100.0%	99.2%	66.2%	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	1,070	928	939	1,336	1,736	3,524
			実績額	1,068	928	939	1,325	1,150	-
			執行率	99.8%	100.0%	100.0%	99.2%	66.2%	-
	差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	32,007	24,886	26,925	38,894	34,331	32,896
			実績額	21,315	26,036	29,531	38,782	32,983	-
			執行率	66.6%	104.6%	109.7%	99.7%	96.1%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度の事業費については、虐待一時保護等の実績がなかったことにより執行残となっています。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	192
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	権利擁護・共生社会推進連絡会	2	回	142	
	共生社会しかけ隊実施			2,082	
	講演会・研修会	6	回	380	
	その他（ 啓発物作成等 ）			511	
取組成果	合理的配慮ガイドブックを活用した講座等の実施については、区政相談課主催の「聴くオフミーティング」を区民向け講座等として位置づけ、障害当事者や支援者等で構成される共生社会しかけ隊がオブザーバーとして参加しました。「障害の有無にかかわらず、暮らしやすいまちづくり」をテーマに参加者と意見交換を行い、様々な困りごと等をお互い歩み寄り対話し、解決策を見つめる、合理的配慮にとって重要な考え方の理解促進につなげました。また、民間事業者向けとして、区内バス会社に対して講座を実施しました。合理的配慮のほか、接点の少なかった障害種別の当事者の話を聞くことで、新たな気づきや、地域生活で当事者に会った際の対応のヒントにつながる内容とし修した。動画を動画配信サイトで限定公開し、当日参加できなかった方や各事業所の所内研修に活用できるようにしました。また、養護者支援として、障害当事者を介護している家族等が、同じ立場の仲間と気軽に話ができる「すぎcha場」を開催しました。普段の悩み事などを発言しやすい環境づくりを重視し、アイスブレイクを取り入れるなど進行を工夫しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	区では障害の有無に関わらず、誰もが認め合い支え合う共生社会の実現に向けた取組を実施しています。令和7年度に実施した地域生活に関する調査では、障害を理由とする差別や嫌な思いの経験が有る方は、18歳以上では42.1%、18歳未満では54.1%となっており共生社会の実現に向けて引き続き普及啓発が必要です。また、合理的配慮への理解促進に向け、作成したガイドブックを活用した講座を引き続き実施していく必要があります。 虐待防止の取組については、虐待防止研修及びすぎcha場の参加者を増やすために周知方法を検討していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者スポーツ等支援						款 04	項 01	目 03	事業 041	整理番号	193
現担当課名	障害者施策課				係名 事業推進係		連絡先 電話番号			1179	昨年度 整理番号	184
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成27年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度 担当課名	障害者施策課						事業評価区分			一般		

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

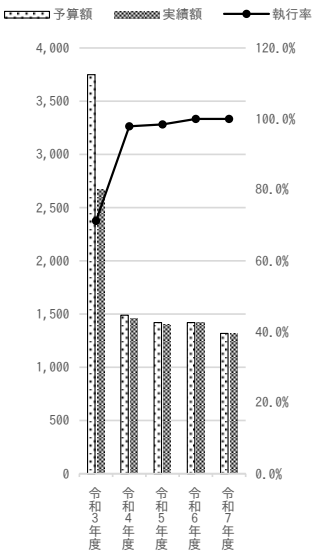
対象	根拠法令等
区内の障害者及びその関係者	障害者基本法第1条、第6条及び第25条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者スポーツ・レクリエーション活動を支援することにより、障害者の社会参加の機会を拡大する。 ○スポーツ・レクリエーションをとおして、障害への理解を深め、誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現を目指す。	○障害者が参加しやすいスポーツ・レクリエーション事業を開催する。 ○障害者通所施設に出向き、施設内で実施できるスポーツの紹介や活動をとおして、障害者がスポーツに親しめる機会を増やす。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名			指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害者スポーツ・レクリエーション事業開催回数			回	計画	20	20	20	20
					実績	18	28	28	-
					達成率	90.0%	140.0%	140.0%	-
				計画	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-	
達成率				-	-	-	-		
成果指標	障害者スポーツ・レクリエーション参加者数			人	計画	630	900	1,000	1,000
					実績	1,015	1,371	1,941	-
					達成率	161.1%	152.3%	194.1%	-
	分類	行政サービス成果指標							
				計画	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-	
				達成率	-	-	-	-	
分類									

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
事業費		千円	予算額 3,749 実績額 2,672 執行率 71.3%	1,489 1,458 97.9%	1,420 1,398 98.5%	1,420 1,420 100.0%	1,318 1,318 100.0%	1,310 - -		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額 6,802 実績額 5,673 執行率 83.4%	5,840 5,823 99.7%	5,823 5,860 100.6%	1,674 1,711 102.2%	3,422 2,848 83.2%	3,560 - -		
			予算額 363 実績額 368 執行率 101.4%	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -			
	上記以外の職員	千円	予算額 10,914 実績額 8,713 執行率 79.8%	7,329 7,281 99.3%	7,243 7,258 100.2%	3,094 3,131 101.2%	4,740 4,166 87.9%	4,870 - -		
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額 10,914 実績額 8,713 執行率 79.8%	7,329 7,281 99.3%	7,243 7,258 100.2%	3,094 3,131 101.2%	4,740 4,166 87.9%	4,870 - -		
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 - -		
			国・都からの 補助金 ②	千円	予算額 1,000 実績額 1,200 執行率 120.0%	600 325 54.2%	600 600 100.0%	600 800 133.3%	878 878 100.0%	655 - -
					その他の 補助金等 ③	千円	予算額 0 実績額 0 執行率 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
	特定財源 (①+②+③)	千円					予算額 1,000 実績額 1,200 執行率 120.0%	600 325 54.2%	600 600 100.0%	600 800 133.3%
			差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円			予算額 9,914 実績額 7,513 執行率 75.8%	6,729 6,956 103.4%	6,643 6,658 100.2%	2,494 2,331 93.5%

事業費の年度推移



特記事項

活動指標、成果指標について、令和7年度はデフリンピック応援イベント（7月19日開催）を含んだ実績となっています。

令和7年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	193
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	障害者スポーツ・レクリエーション事業の実施	28	回	1,318	
	その他（	）			0
取組成果	より多くの障害者がスポーツ活動等を始めるきっかけとなるよう、「ふれあいフェスタ」でのスポーツ・レクリエーション体験事業や、高井戸地区民センターでの「ふれあい・スポレク体験会」、障害者通所施設に 出向きスポーツ・レクリエーションを行う「出前教室」を実施しました。令和7年度は、令和7年11月開催の「 東京2025デフリンピック大会」に向け「デフリンピック応援イベント」を実施しました。イベントでは、デフ 競技体験、デフアスリートによるトークショー、手話を知るコーナーなどを設け、当大会及び手話の普及啓発 を図りました。また、「出前教室」では、引き続き、施設への実施希望調査を2回実施するとともに障害特性 や環境に合わせた種目の選定や、適切な人数などについてのアレンジを行うことで、実施施設数及び実施回 数の確保をはじめ安定した事業実施ができています。さらに、ふれあいフェスタ、ふれあいスポ・レク体験会 ユニバーサルタイム等のチラシを配布し参加を呼びかけることで、施設でのスポーツ・レクリエーションだ けでなく、その他の事業への参加機会の拡大など他の事業とのつながりを意識しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	障害の有無に関わらず参加できる、スポーツ・レクリエーションの機会を増やすことは、障害者の社会参加と、地域の障害理解の促進につながります。 出前教室については、施設の利用者が出前教室での体験をきっかけとして、ふれあい運動会や、スポレク体験会に参加できるよう、参加者に応じたプログラム設計を行い、スポーツ・レクリエーションへ参加しやすくするなど、内容の一層の工夫が必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I.事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I.事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II.事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II.事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者の地域生活支援体制の充実							款	04	項	01	目	03	事業	042	整理番号	194
現担当課名	障害者施策課					係名	基幹相談支援係				連絡先電話番号	03-5335-7672		昨年度整理番号	185		
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援									予算事業区分		既定事業				
事業開始	平成25年度	実行計画事業			分野	05	施策	17	計画事業		03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度担当課名	障害者施策課										事業評価区分		一般				

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

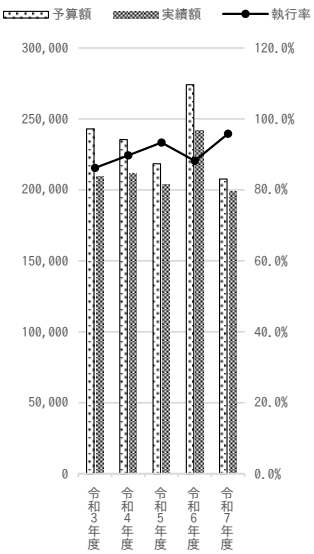
対象	根拠法令等
○身体障害者、知的障害者、精神障害者及び介護者など ○障害福祉サービスの事業者、相談支援事業者など	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者地域相談支援センター運営事業実施要綱ほか
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○緊急時の体制整備や地域移行・地域定着の推進に取組み、地域生活支援体制の充実を図ることで、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにする。	○地域生活支援拠点のあり方について検討するとともに、緊急時対応事業の推進、利用者のニーズに合わせた実効性のある緊急時対応計画の作成に取り組む。 ○精神科病院長期入院者の地域生活への移行を促進するため、広く関係機関への周知を行うと共に、地域移行プレ事業の対象者、サービス利用への移行の流れの整理、検討を行う。体験の場としての機能を持つ杉並区精神障害者グループホーム活用型ショートステイ事業の活用を推進する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名			指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害者緊急時対応計画作成件数			件	計画	240	330	420	510
					実績	47	77	93	-
					達成率	19.6%	23.3%	22.1%	-
	杉並区精神障害者グループホーム活用型ショートステイ事業専用居室の年間稼働日数		所	計画	480	480	480	480	
				実績	340	382	321	-	
				達成率	70.8%	79.6%	66.9%	-	
成果指標	障害者緊急時対応計画の作成が必要な障害者の計画作成率		年間の障害者緊急時対応計画作成数÷障害者緊急時対応計画の作成が必要な障害者数	%	計画	27.6	37.9	48.3	58.6
					実績	5.8	8.9	11.5	-
					達成率	21.0%	23.5%	23.8%	-
	分類	行政サービス成果指標							
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	242,954	235,442	218,409	274,102	207,633	220,497
			実績額	209,404	211,244	203,872	241,684	198,963	-
			執行率	86.2%	89.7%	93.3%	88.2%	95.8%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	89,506	105,341	115,775	104,638	107,292	140,264
			実績額	104,507	112,281	135,336	120,126	115,789	-
			執行率	116.8%	106.6%	116.9%	114.8%	107.9%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	7,256	13,230	3,678	12,944	19,268	20,115
			実績額	19,294	3,678	3,426	16,390	24,138	-
			執行率	265.9%	27.8%	93.1%	126.6%	125.3%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	339,716	354,013	337,862	391,684	334,193	380,876
			実績額	333,205	327,203	342,634	378,200	338,890	-
			執行率	98.1%	92.4%	101.4%	96.6%	101.4%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	13,469	23,076	16,929	8,327	98,438	23,288
			実績額	12,255	23,301	14,881	21,768	21,886	-
			執行率	91.0%	101.0%	87.9%	261.4%	22.2%	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	13,469	23,076	16,929	8,327	98,438	23,288
			実績額	12,255	23,301	14,881	21,768	21,886	-
			執行率	91.0%	101.0%	87.9%	261.4%	22.2%	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	326,247	330,937	320,933	383,357	235,755	357,588
			実績額	320,950	303,902	327,753	356,432	317,004	-
			執行率	98.4%	91.8%	102.1%	93.0%	134.5%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	194
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	障害者地域相談支援センター（すまいる）運営委託	3	所	166,551	
	生活支援コーディネーター業務	3	所	17,899	
	グループホーム併設型ショートステイ運営委託	2	所	6,080	
	緊急時対応事業委託	3	所	4,694	
	その他（ 障害者24時間安心サポート事業、地域自立支援協議会運営等			）	
取組成果	緊急時対応計画については、令和7年度に新たに16件を作成し、累計作成数は93件になりました。また、緊急時対応事業の一環である緊急時対応ショート事業については、2件の利用実績があり、緊急時における受入体制の確保に寄与しました。さらに、地域自立支援協議会の地域生活支援拠点部会のワーキンググループにおいて、緊急時対応事業のあり方について協議を進めました。 地域移行の促進では、地域移行プレ事業の利用者が年間を通じて15名となり、このうちグループホームへの入居や地域移行支援サービスの利用開始等により、5名が次の段階へ進みました。こうした取組により、精神科病院に入院している方の退院の動機付けや地域生活の具体的なイメージづくり等を支援し、地域生活への移行に向けた準備の促進に努めました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	緊急時対応計画の年間作成件数は、引き続き増加傾向にありますが、現時点でも目標値を大きく下回っている状況です。障害者地域相談支援センター（すまいる）、特定相談支援事業所からの周知に加え、改めて区内各通所施設に対する訪問周知活動を実施します。また、緊急時対応事業については、緊急時対応ショートステイ支援者派遣とともに体験を含めた利用に向けて、関係機関と引き続き確認しながら進めていきます。 地域移行の促進については、昨年度に杉並区精神障害者グループホーム活用型ショートステイ事業の事業内容の見直しを行いました。その結果、現時点で大きな混乱はなく稼働しており、今後も地域移行を目的とする方の利用が促進されるよう、病院を含め関係機関と連携をしていきます。また、今年度から開始する、補助金事業（特定相談・一般相談連携機能強化支援事業）の周知と活用に向けて検討を進める中で、課題の整理を行っていきます。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	発達障害者支援の充実							款 04	項 01	目 03	事業 043	整理番号	195
現担当課名	障害者施策課				係名	管理係		連絡先 電話番号		1104	昨年度 整理番号	186	
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成26年度		分野	05	施策	17	計画事業						
令和7年度 担当課名	障害者施策課							事業評価区分		一般			

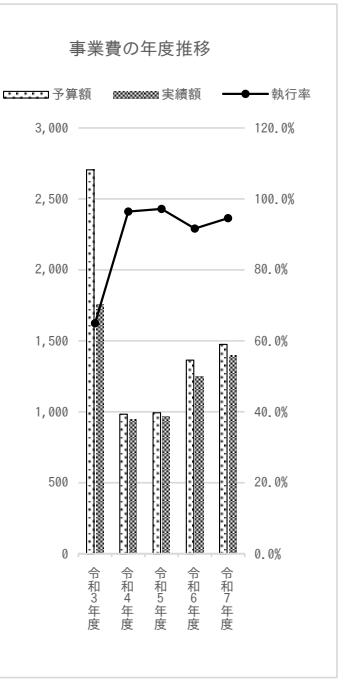
令和7年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
杉並区に居住する、知的障害を伴わない18歳から50歳未満の発達障害の診断を受けている者及び疑いのある者。	発達障害者支援法 杉並区発達障害者支援事業成人期プログラム実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○家族教室は、発達障害者の家族が障害の特性やより良いかわり方を学ぶ機会を得ることで、当事者が安定した生活につながることをめざす。 ○相談担当者が相談者の生活上の課題を適切に聞き取り、状況にあった支援につなげることをめざす。	○専門相談や家族教室の講師は専門の講師に依頼し、謝礼を支払う。 ○関係者連絡会では、区内の就労系の相談窓口担当者が参加し、講師による研修を実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	関係者連絡会の開催回数		回	計画	3	3	2	-
				実績	2	1	2	-
				達成率	66.7%	33.3%	100.0%	-
	家族教室の参加者数		人	計画	75	75	75	-
				実績	54	63	81	-
達成率				72.0%	84.0%	108.0%	-	
成果指標	家族教室の参加者数		人	計画	80	75	75	-
				実績	54	63	81	-
				達成率	67.5%	84.0%	108.0%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	家族教室参加後の満足度		%	計画	85	90	90	-
				実績	94	91	93	-
達成率				110.6%	101.1%	103.3%	-	
分類	利用者満足度指標							

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費		千円	予算額	2,705	983	993	1,364	1,475	2,456
			実績額	1,757	948	965	1,250	1,395	-
			執行率	65.0%	96.4%	97.2%	91.6%	94.6%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	8,503	8,343	2,495	8,371	6,845	4,005
			実績額	8,343	4,159	5,860	6,845	4,005	-
			執行率	98.1%	49.9%	234.9%	81.8%	58.5%	-
	上記以外の職員	予算額	363	0	0	0	0	0	
		実績額	368	0	0	0	0	-	
		執行率	101.4%	-	-	-	-	-	
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	11,571	9,326	3,488	9,735	8,320	6,461
			実績額	10,468	5,107	6,825	8,095	5,400	-
			執行率	90.5%	54.8%	195.7%	83.2%	64.9%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	1,352	489	496	682	0	1,228
			実績額	862	491	482	0	738	-
			執行率	63.8%	100.4%	97.2%	0.0%	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	1,352	489	496	682	0	1,228
			実績額	862	491	482	0	738	-
			執行率	63.8%	100.4%	97.2%	0.0%	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	10,219	8,837	2,992	9,053	8,320	5,233	
		実績額	9,606	4,616	6,343	8,095	4,662	-	
		執行率	94.0%	52.2%	212.0%	89.4%	56.0%	-	



特記事項

--

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	195
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	家族教室の実施	9	回	273	
	専門相談の実施	36	回	929	
	関係者連絡会の開催	2	回	53	
	その他（ 通信運搬費等			）	140
取組成果	家族教室は、対象年齢を義務教育在学中と卒業後に分けて2回実施しています。参加することで、障害に対する理解が深まり、日頃の接し方に変化が生じたとの感想が出されています。専門相談では、障害福祉サービスの相談を担当する区や事業所の職員を対象に利用者の障害特性について助言を実施しています。また、家族教室に参加した区民に対し個別相談を実施しました。発達障害者の支援を多く担当する部署の職員が参加する実務担当者会を開催し、相談ツールの1つである「発達障害相談窓口マップ」を改訂しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	家族教室は、ライフステージの移行期（進学・就労期等）に応じた内容を取り入れていますが、参加者同士の意見交換や交流をする機会を持つことができていないためプログラムの一層の工夫が必要です。発達障害に関する理解や対応力は担当部署や職員によって差が生じやすく、支援の質にはばらつきが生じる可能性があります。専門相談や実務担当者会の実施により、専門的知見を支援者に浸透させ、一定水準の支援を確保する取組として、今後も継続する必要があります。 発達障害相談窓口マップを当事者の日常生活で生じる困難感から相談先がわかる内容に変更しました。実際の相談窓口で活用が促されるよう、支援者向けの研修等を通して普及啓発に努める必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者生活支援サービス							款 04	項 01	目 03	事業 059	整理番号	196
現担当課名	障害者施策課				係名	障害者手当・医療係				連絡先 電話番号	1145	昨年度 整理番号	187
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分		既定事業	
事業開始	令和3年度		分野	05	施策	17	計画事業						
令和7年度 担当課名	障害者施策課								事業評価区分		一般		

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

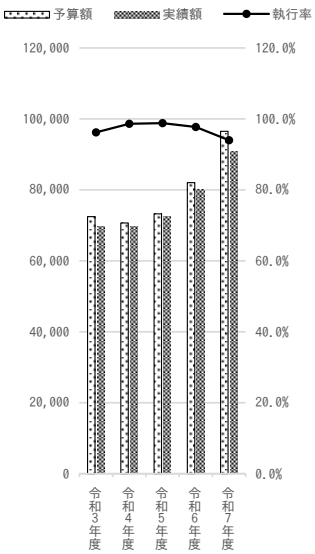
対象	根拠法令等
在宅の重度心身障害者（児）で各事業ごとに支援を必要とする方	杉並区心身障害者おむつ支給要綱 杉並区重度心身障害者等緊急通報システム（民間方式）事業運営要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者が住み慣れた地域で引き続き暮らせるよう、衛生の保持や健康の増進、生活の安全の確保等のほか、経済的な負担の軽減を図る。	○おむつ支給：月9,000円を限度に現物支給する。 ○緊急通報システム：緊急事態に陥った際、自動的に民間警備会社に通報する。 ○理美容サービス：理美容券を発行し訪問理美容サービスを提供する。 ○電話料助成：固定電話の回線・配線・機器使用料及び月60通話分の通話料を助成する。 ○寝具洗濯乾燥：月1回、ふとん乾燥車で自宅を訪問し、寝具の乾燥を行う。年に2回、寝具の水洗いも行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	受給者数（おむつ）		人	計画	921	947	1,290	1,142
				実績	963	986	1,048	-
				達成率	104.6%	104.1%	81.2%	-
	緊急通報システム新規設置台数		台	計画	5	5	5	5
				実績	9	0	3	-
成果指標	おむつの一人当たり年間総支給額		千円	計画	75	82	86	90
				実績	73	78	84	-
				達成率	97.3%	95.1%	97.7%	-
	分類							
	緊急通報システム設置者数		台	計画	41	50	48	42
				実績	43	38	37	-
				達成率	104.9%	76.0%	77.1%	-
	分類							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	72,457	70,670	73,241	82,039	96,508	106,180
			実績額	69,710	69,703	72,371	80,175	90,712	-
			執行率	96.2%	98.6%	98.8%	97.7%	94.0%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	4,252	19,584	8,979	8,683	6,160	8,010
			実績額	18,016	9,228	9,352	9,654	9,790	-
			執行率	423.7%	47.1%	104.2%	111.2%	158.9%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	1,470	1,471	1,523	3,250	491
			実績額	1,838	1,471	1,523	464	491	-
			執行率	-	100.1%	103.5%	30.5%	15.1%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	76,709	91,724	83,691	92,245	105,918	114,681
			実績額	89,564	80,402	83,246	90,293	100,993	-
			執行率	116.8%	87.7%	99.5%	97.9%	95.4%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	272	162	902	1,100	946	836
			実績額	1,085	902	770	946	836	-
			執行率	398.9%	556.8%	85.4%	86.0%	88.4%	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	272	162	902	1,100	946	836
			実績額	1,085	902	770	946	836	-
			執行率	398.9%	556.8%	85.4%	86.0%	88.4%	-
差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	76,437	91,562	82,789	91,145	104,972	113,845
			実績額	88,479	79,500	82,476	89,347	100,157	-
			執行率	115.8%	86.8%	99.6%	98.0%	95.4%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	196
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	おむつ支給	1,048	人	87,519	
	緊急通報システム	37	人	1,294	
	理美容サービス	96	人	872	
	その他（電話料助成、寝具洗濯乾燥、知的障害者（児）位置探索システム等）	38	人	928	
	その他（ 事務費ほか	）			99
取組成果	おむつ支給は、物価上昇の影響を受け、令和7年度から現物給付の限度額を月額8,000円から9,000円に見直しました。認定者数は平成30年度以降、900名台で推移していましたが、令和7年度は1,048名に増加しており、経済的な負担の軽減を図りました。理美容サービスは96名にサービスを提供し、緊急通報システムは37名の単身の重度心身障害者に緊急時対応などのサービスを提供しました。その他、電話料助成は11名、寝具洗濯乾燥サービスは11名、知的障害者（児）位置探索システムは16名にサービスを提供しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	おむつ支給は、毎日使用する衛生用品であることから、取り扱い品目の選定など利用者の声を丁寧に聴きながら事業を進めていく必要があります。理美容サービスは、重度の心身障害者へ年4回を限度として、理美容師が訪問し理髪等を行う事業ですが、出張サービスを行う理美容店が年々減少していることが、課題となっています。令和7年度は利用者へアンケートを行い、利用したくても近隣に理美容券が使える店舗がないことや利用回数増に関する要望が寄せられました。周辺区の実態調査などを行いながら、より利用しやすい持続的なサービスが提供できるよう制度の見直しを図ります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者手当等支給						款 04	項 01	目 03	事業 062	整理番号	197
現担当課名	障害者施策課				係名	障害者手当・医療係			連絡先 電話番号	1145	昨年度 整理番号	188
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援							予算事業区分		既定事業	
事業開始	令和3年度		分野	05	施策	17	計画事業					
令和7年度 担当課名	障害者施策課							事業評価区分		一般		

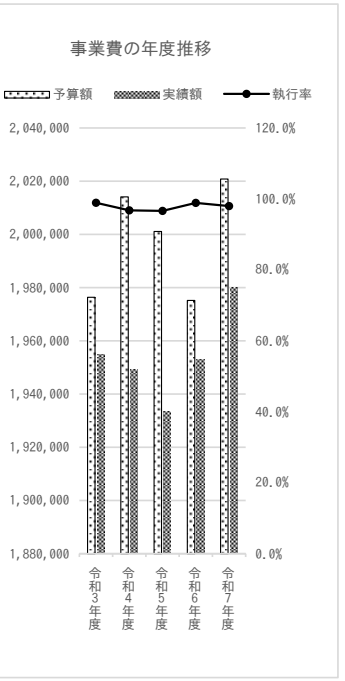
令和7年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
受給要件に該当する心身障害者（年齢制限、所得制限あり）	杉並区心身障害者福祉手当条例 杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○心身に障害を有する者等に手当を給付することにより、福祉の増進と経済的負担の軽減を図る。 ○外出困難な心身障害者の自立した生活と社会参加、及び経済的負担の軽減を図る。	○心身障害者福祉手当：一定の障害等級、障害状況により、月額17,000円、11,500円、5,000円を支給する。 ○タクシー利用券：一定の障害を有する者に月5,300円の福祉タクシー券を支給する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	受給者数（心身障害者福祉手当（精神含む）・介護手当）		人	計画	5,250	5,241	5,270	5,269
				実績	5,211	5,272	5,321	-
				達成率	99.3%	100.6%	101.0%	-
	福祉タクシー券利用者数		人	計画	5,800	5,880	5,524	5,221
				実績	5,139	5,291	4,963	-
成果指標	心身障害者福祉手当（精神含む）・介護手当の年間総支給額		千円	計画	915,476	922,121	906,982	906,555
				実績	903,436	905,329	901,855	-
				達成率	98.7%	98.2%	99.4%	-
	分類 行政サービス成果指標							
	発行した福祉タクシー券の利用率	支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額	%	計画	80	76	81	79
				実績	63	68	71	-
				達成率	78.8%	89.5%	87.7%	-
	分類 社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	1,976,366	2,014,104	2,001,101	1,975,182	2,020,815	2,042,826
			実績額	1,954,931	1,949,212	1,933,570	1,953,127	1,980,083	-
			執行率	98.9%	96.8%	96.6%	98.9%	98.0%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	78,228	67,297	97,148	96,997	94,715	86,330
			実績額	69,860	81,377	97,871	100,863	105,020	-
			執行率	89.3%	120.9%	100.7%	104.0%	110.9%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	8,453	2,207	2,284	4,179	2,453
			実績額	4,778	8,827	2,284	2,786	2,453	-
			執行率	-	104.4%	103.5%	122.0%	58.7%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	2,054,594	2,089,854	2,100,456	2,074,463	2,119,709	2,131,609
			実績額	2,029,569	2,039,416	2,033,725	2,056,776	2,087,556	-
			執行率	98.8%	97.6%	96.8%	99.1%	98.5%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	① 国・都からの補助金	千円	予算額	125,603	128,095	133,841	140,602	148,280	159,765
			実績額	128,291	131,260	135,679	143,132	153,323	-
			執行率	102.1%	102.5%	101.4%	101.8%	103.4%	-
	② その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	③ 特定財源	千円	予算額	125,603	128,095	133,841	140,602	148,280	159,765
			実績額	128,291	131,260	135,679	143,132	153,323	-
			執行率	102.1%	102.5%	101.4%	101.8%	103.4%	-
	④ 差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	1,928,991	1,961,759	1,966,615	1,933,861	1,971,429	1,971,844
			実績額	1,901,278	1,908,156	1,898,046	1,913,644	1,934,233	-
			執行率	98.6%	97.3%	96.5%	99.0%	98.1%	-



特記事項

--

令和7年度 事業実施状況（Ｄｏ）				整理番号	197
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	国の制度の手当て（特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当）	624	人	189,079	
	心身障害者福祉手当（精神障害者福祉手当含む）、介護手当	5,321	人	901,855	
	難病患者福祉手当	3,032	人	580,272	
	タクシー利用券、リフト付タクシー補助券、自動車燃料費助成	7,102	人	258,381	
	その他（ 特別児童扶養手当事務費ほか			50,496	
取組成果	国の制度の手当である特別障害者手当は438人、障害児福祉手当は181人、経過的福祉手当は5人に支給しました。 区の制度の手当である心身障害者福祉手当は、5,321人に支給しました。そのうち、身体障害者は3,537人、知的障害者は1,648人、精神障害者は136人に支給しました。難病患者福祉手当は、3,032人に支給しました。いずれの手当も、受給者数は前年度より増加しています。 タクシー利用券は4,963人、リフト付タクシー補助券は815人に交付し、自動車燃料費助成は1,324人に助成することにより、障害者の社会参加や生活の利便性の向上を図りました。これらの移動に関する事業は、令和6年度から20歳未満の障害者の所得要件を撤廃しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	国の制度の手当は、障害者手帳を所持しなくても一定の重度の障害がある方は所定の様式の医師の診断書の内容を東京都が審査し、支給の認定をします。高齢者など障害者のサービスを利用していない方も申請可能となっているため、給付を希望する重度の障害者へ制度の情報が確実に届くよう、広報誌や区のホームページなどで積極的に発信していく必要があります。 区の制度の手当は、区の条例に定める等級に該当する障害者手帳を所持している方へ、区が申請の勧奨をし、支給の認定をします。所得要件や特定の施設への入所により受給資格が喪失する制度となっているため、適正な支給となるよう、本人の状況に変更があった場合には、速やかな区への申告について、丁寧に説明していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	共生型サービスの推進						款 04	項 01	目 03	事業 063	整理番号	198
現担当課名	障害者施設支援課				係名 事業者支援係		連絡先 電話番号		2272	昨年度 整理番号	189	
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分		既定事業		
事業開始	令和4年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 05		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課						事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

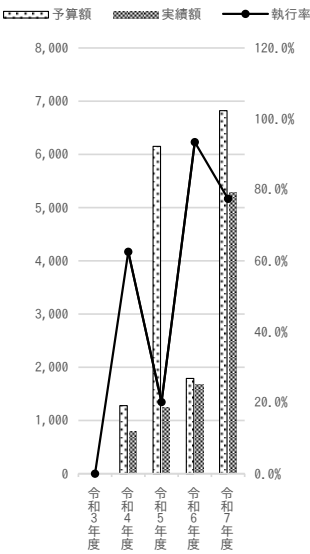
対象	根拠法令等
○区内で共生型サービス事業所を開設し、生活介護又は短期入所を提供する介護保険サービス事業者	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区共生型サービス事業所開設等補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者が個々の身体状況や適性に合わせて、介護保険事業者が提供するサービスを選択して利用できるよう、介護保険サービス事業所が、共生型サービス事業所を開設することを促進する。	○共生型サービス事業所の開設に係る経費及び障害者の受入れにかかる経費の一部を助成する。 ○高齢・障害分野の更なる連携により、共生型サービス事業所開設及び利用促進に向けた周知啓発等を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	区内の共生型サービス事業所数		所	計画	7	12	10	12
				実績	5	6	8	-
	周知・啓発セミナー等開催数		回	達成率	71.4%	50.0%	80.0%	-
				計画	3	3	1	1
成果指標	共生型サービス事業所利用者数		人	実績	3	3	1	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
	分類 行政サービス成果指標			計画	18	24	20	24
				実績	6	6	11	-
				達成率	33.3%	25.0%	55.0%	-
				計画	-	-	-	-
分類				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
				計画	-	-	-	-

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	-	1,279	6,151	1,790	6,822	7,488
			実績額	-	800	1,242	1,673	5,286	-
			執行率	-	62.5%	20.2%	93.5%	77.5%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	-	2,481	6,650	4,885	4,097	1,780
			実績額	-	4,986	5,723	2,730	4,455	-
			執行率	-	201.0%	86.1%	55.9%	108.7%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	-	0	0	0	0	0
			実績額	-	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	-	3,760	12,801	6,675	10,919	9,268
			実績額	-	5,786	6,965	4,403	9,741	-
			執行率	-	153.9%	54.4%	66.0%	89.2%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	-	0	0	0	0	0
			実績額	-	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	-	0	0	0	0	0
			実績額	-	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	-	0	0	0	0	0
			実績額	-	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	-	0	0	0	0	0
			実績額	-	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	-	3,760	12,801	6,675	10,919	9,268
			実績額	-	5,786	6,965	4,403	9,741	-
			執行率	-	153.9%	54.4%	66.0%	89.2%	-

事業費の年度推移



特記事項

令和6年度は、開設事業者数・利用者数ともに増加したものの、計画値を下回ったため、助成金に執行残が生じました。

令和7年度 事業実施状況（Ｄ○）				整理番号	198
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	共生型サービス事業所開設促進助成	4	所	939	
	開設に向けたコンサルティング業務の委託			3,850	
	啓発のための動画製作及びワークショップ	1	回	153	
	その他（		）	344	
取組成果	令和7年度から、共生型サービス事業所開設促進事業に加え、開設に向けた支援をするコンサルティング業務を委託し、介護保険事業所に開設を働きかけました。その結果、令和7年9月に生活介護の共生型サービス事業所が1所、令和8年1月に短期入所の共生型サービス事業所が1所それぞれ開設され、区内の事業所数は生活介護6所、短期入所2所となりました。事業所数の増加に伴い、利用者数も令和6年度の7人から11人へと増加しています。 また、令和7年8月には、介護保険事業所及び障害者通所施設を対象とした実態調査を実施し、共生型サービス事業所の開設に関する意向を把握しました。あわせて、高齢者分野と障害者分野の支援者によるワークショップの開催や、介護保険事業所向けの開設促進に資する動画の制作を行うなど、分野間の相互理解の促進に取り組みました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	共生型サービスを利用することで、65歳未満の障害者が、加齢により障害者施設での通所や作業に支障が生じた場合でも「本人状況に合わせた支援が受けられるようになった」「65歳となった段階で介護保険にスムーズな移行することができた」などの効果が見られています。しかしながら、送迎範囲外となってしまう地域偏在や、利用者が通い慣れた施設から移行する際の環境変化などにより、利用が進まないことが課題です。 また、開設促進事業における障害者受入助成については、開設後2年以内とする条件や、障害者ごとに受入れ後1年間とする助成期間を設けていますが、介護保険制度と障害福祉サービスの報酬体系等の違いにより、支援に見合わない報酬単価等となっています。このため、国の報酬単価等の見直しが行われるまでの間、助成は期間を設けず継続するとともに、国に対して制度改善を要請していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者福祉人材の育成・支援						款 04	項 01	目 03	事業 064	整理番号	199
現担当課名	障害者施設支援課				係名 事業者支援係			連絡先 電話番号		2272	昨年度 整理番号	190
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分		既定事業		
事業開始	令和6年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課						事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

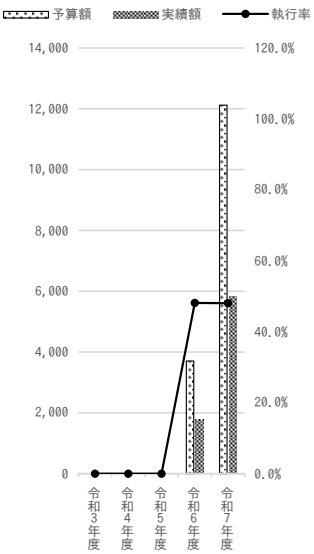
対象	根拠法令等
区内の障害福祉サービス等事業所	杉並区障害者施策推進計画（令和6年度～令和8年度） 障害福祉サービス事業所等介護職員初任者・実務者研修課程受講料助成要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区内の障害福祉サービス事業所等が安定的に質の高いサービスを提供できるよう、福祉人材の確保・育成・定着に向けた取り組みを進める。	○より質の高いサービスを提供するため、区内の公民事業所が連携して研修等の人材育成の取組を行う。 ○民間事業所の人材不足の解消に向け、人材確保に向けた講座やイベント、学生等への障害福祉の仕事の理解促進に向けた取組などを実施する。 ○障害福祉サービスの担い手となる無資格者・未経験者の人材確保及び育成支援を目的として、資格取得に係る受講料等の経費を助成する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	公民障害福祉従事者人材育成研修開催回数		回	計画	10	15	17	17
				実績	5	16	16	-
				達成率	50.0%	106.7%	94.1%	-
	公民障害福祉従事者人材育成研修参加者数		人	計画	225	360	420	420
				実績	124	504	509	-
達成率		55.1%		140.0%	121.2%	-		
成果指標	資格取得のための研修受講料助成者数	人	計画	0	35	25	140	
			実績	0	7	17	-	
			達成率	-	20.0%	68.0%	-	
	分類							
	訪問系障害福祉サービス事業所の人材確保支援の助成者数	人	計画	0	0	3	39	
			実績	0	0	7	-	
			達成率	-	-	233.3%	-	
分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	-	-	-	3,706	12,120	44,526
			実績額	-	-	-	1,784	5,824	-
			執行率	-	-	-	48.1%	48.1%	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	-	-	-	-	29,312	28,157
			実績額	-	-	-	22,123	31,194	-
			執行率	-	-	-	-	106.4%	-
	上記以外の職員		予算額	-	-	-	-	0	0
			実績額	-	-	-	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	-	-	-	3,706	41,432	72,683
			実績額	-	-	-	23,907	37,018	-
			執行率	-	-	-	645.1%	89.3%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	-	-	-	-	0	0
			実績額	-	-	-	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	-	-	-	-	1,944	13,793
			実績額	-	-	-	902	3,588	-
			執行率	-	-	-	-	184.6%	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	-	-	-	-	0	0
			実績額	-	-	-	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	-	-	-	-	1,944	13,793
			実績額	-	-	-	902	3,588	-
			執行率	-	-	-	-	184.6%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	-	-	-	3,706	39,488	58,890	
		実績額	-	-	-	23,005	33,430	-	
		執行率	-	-	-	620.8%	84.7%	-	

事業費の年度推移



特記事項

令和7年7月から杉並区訪問系障害福祉サービス事業所人材確保支援事業を開始しました。助成対象者数については、計画では3人でしたが、実績は7人と多くなりました。一方で、助成額については、採用者が計画より早期に自立したことや、既に資格を有する者の採用により資格取得に係る研修期間の人件費が不要であったことなどから、予定していた予算より実績が少なく執行残となりました。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	199
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	公民障害福祉従事者人材育成研修	16	回	1,598	
	介護職員初任者等受講料助成	17	人	1,158	
	訪問系障害福祉サービス事業所の人材確保支援助成	7	人	2,798	
	その他（ 障害者人材確保委員会、周知啓発経費等			270	
取組成果	福祉人材の確保・育成については、令和7年度から介護職員初任者研修及び実務者研修の受講料助成割合を引き上げ、原則として全額助成としたことにより、利用実績は令和6年度の7件から17件となり、大幅に増加しました。また、令和7年7月からの新たな人材確保支援事業として、訪問系障害福祉サービス事業者に対し、未経験者を雇用し正規採用に至るまでの人件費を助成する事業を実施し、7件の実績がありました。障害福祉分野の仕事の魅力を伝え、就労への理解と関心を高めるため、就職相談会に加え、令和7年度は新たに仕事の魅力を紹介するセミナーを開催するとともに、求職者や大学生を対象とした施設見学会を4回開催しました。				

課題の分析、方向性・改善策（C h e c k ・ A c t i o n）

課題の分析	地域で安定的に障害福祉サービスを提供するためには人材確保が不可欠ですが、令和7年度の調査では7割以上の事業者が人材不足、特に訪問系では8割を超える事業者が不足と回答しており、深刻な課題となっています。一方で、8割以上の職員が仕事にやりがいを感じていることから、分野としての魅力は高いものの、その魅力が十分に伝わっていないことも人材不足の一因と考えられます。 また、受講料助成の対象となる研修や訪問系の対象サービスが限定的であることから、ニーズに十分対応しきれていない側面もあります。 こうした状況を踏まえ、今後は、無資格者や未経験者を含めた多様な人材の参入を促進するための支援を拡充するとともに、若年層を中心に障害福祉分野の魅力を効果的に発信し、裾野を広げていく取組を一体的に推進していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（A c t i o n）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者入所・通所施設の整備							款	04	項	01	目	07	事業	004	整理番号	218
現担当課名	障害者施設支援課					係名	管理係			連絡先 電話番号			2222		昨年度 整理番号	209	
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援								予算事業区分		既定事業					
事業開始	平成11年度	実行計画事業			分野	05	施策	17	計画事業	01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課											事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

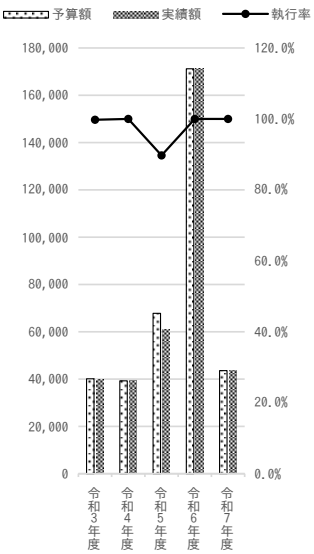
対象	根拠法令等
障害者通所施設を整備する社会福祉法人等	社会福祉法第6条 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○重度障害者の日中活動の場を確保するため、生活介護事業等を行う通所施設の整備を進め、障害者の豊かな地域生活を実現する。	○区有地等を活用し、区又は社会福祉法人が障害者通所施設を整備し、重度障害者が地域で社会生活を行える、日中活動の場を確保する。 ○令和7年度末現在、区内では重度障害者の通所施設10施設（知的5・身体5、うち7施設は民間施設）を運営している。 ○今後、重度身体障害者通所施設の定員不足が予想されることから、重度身体障害者通所施設の開設を図る。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名			指標説明		単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	区内重度障害者通所施設の数		重度障害者が通所できる施設の数	所	計画		10	10	11	11
					実績		10	10	11	-
					達成率		100.0%	100.0%	100.0%	-
				計画		-	-	-	-	
				実績		-	-	-	-	
			達成率		-	-	-	-		
成果指標	区内重度障害者通所施設の受入者数		重度障害者が通所できる施設の定員	人	計画		241	241	281	281
					実績		241	241	281	-
					達成率		100.0%	100.0%	100.0%	-
	分類	行政サービス成果指標								
				計画		-	-	-	-	
				実績		-	-	-	-	
	分類				達成率		-	-	-	-

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	40,126	39,262	67,807	171,203	43,581	26,607
			実績額	40,031	39,261	60,833	171,201	43,579	-
			執行率	99.8%	100.0%	89.7%	100.0%	100.0%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	5,102	2,282	1,594	3,790	6,141	2,698
			実績額	0	2,740	1,896	4,263	2,778	-
			執行率	0.0%	120.1%	118.9%	112.5%	45.2%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	2,177	2,205	1,839	1,904	1,857	1,962
			実績額	2,205	2,942	1,904	1,857	1,962	-
			執行率	101.3%	133.4%	103.5%	97.5%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	47,405	43,749	71,240	176,897	51,579	31,267
			実績額	42,236	44,943	64,633	177,321	48,319	-
			執行率	89.1%	102.7%	90.7%	100.2%	93.7%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	47,405	43,749	71,240	176,897	51,579	31,267
			実績額	42,236	44,943	64,633	177,321	48,319	-
			執行率	89.1%	102.7%	90.7%	100.2%	93.7%	-

事業費の年度推移



特記事項

これまでに開設された民設民営施設の借入金利息を補助し、施設の安定的経営を支援しています。また令和5年度から、久我山一丁目都有地を活用した施設建設が開始されて建設補助予算が増額となりましたが、令和6年度に重度知的障害者通所施設1所が竣工したため、令和7年度以降は建設補助は減額となっています。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	218
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	すだちの里すぎなみ・運営法人への償還金助成	1	所	17,367	
	マイルドハート高円寺・運営法人への償還金助成	1	所	20,609	
	（仮称）久我山生活園の建設費助成	1	所	5,603	
	その他（ ）				0
取組成果	障害者支援施設の「すだちの里すぎなみ」「マイルドハート高円寺」については、施設建設時の償還金助成を行い、施設経営の安定化を図りました。すだちの里すぎなみ運営法人への助成は、令和7年度で終了となります。（仮称）久我山生活園は、令和6年度末に竣工し、令和7年4月から「リーフぽけっと」として開設されました。令和7年度からは、施設の安定的運営を支援するため、土地賃借料に対する補助を行っています。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	久我山一丁目都有地を活用した重度知的生活介護施設「リーフぽけっと」は、令和7年4月に予定どおり開設されました。また、施設建設に伴い運営法人に対して補助を開始した償還金助成も、「すだちの里すぎなみ」は令和7年度で終了し、「マイルドハート高円寺」も令和9年度までと、安定運用のための支援を予定通り進めてきました。 これに対して、実行計画事業である、重度身体障害者通所施設の整備が課題です。計画の具体化に必要な施設用地が見つからない状況のため、公有地を活用した新規施設建設に加え、既存建物の増築や施設再編まで含めた、あらゆる方法を用いた施設開設を検討することが必要となっています。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者グループホーム等の整備						款 04	項 01	目 07	事業 023	整理番号	219
現担当課名	障害者施設支援課				係名			連絡先 電話番号			昨年度 整理番号	210
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分			既定事業	
事業開始	平成22年度	実行計画事業		分野 05	施策 17	計画事業 01						
令和7年度 担当課名	障害者施設支援課							事業評価区分			一般	

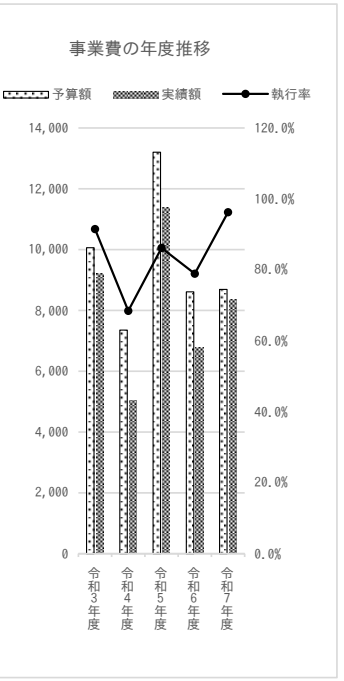
令和7年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
障害者グループホームを建設・整備する物件所有者及び運営法人等	社会福祉法第6条 杉並区障害者グループホーム防火設備整備費補助金交付要綱ほか
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○障害者グループホームの建設に際し、防火設備の整備に対して助成することにより、入居する障害者の安全を確保するとともに、安定した施設運営につなげる。 ○障害者グループホーム建設を検討している物件所有者や法人から相談や開設手続等を支援することで、障害者グループホームの開設を促進する。	○障害者グループホームを整備・運営する法人等に対し、防火設備の整備に要する経費の一部を助成する。また、東京都の補助対象外である精神障害者グループホーム設備整備にかかる経費の一部を、整備する社会福祉法人等に対し助成する。 ○障害者グループホームの開設を検討する物件所有者や運営事業者から相談を受け、両者のマッチングを行うと同時に、開設までに必要な手続等を支援することで、障害者グループホームの開設を促進する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	障害者グループホーム防火設備整備助成数	防火設備の設置に助成した施設数	所	計画	2	2	2	-
				実績	8	5	2	-
				達成率	400.0%	250.0%	100.0%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
成果指標	重度障害者グループホームの整備実績	重度障害者グループホーム定員数	人	計画	43	43	54	-
				実績	43	43	54	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
	分類	社会成果（課題）指標						
	グループホームの防火設備整備率	整備済みのグループホーム÷区内グループホーム	%	計画	100	100	100	-
				実績	100	100	100	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
分類	社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	10,062	7,353	13,203	8,611	8,691	8,691
			実績額	9,207	5,033	11,379	6,796	8,365	-
			執行率	91.5%	68.4%	86.2%	78.9%	96.2%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	3,401	1,736	1,544	3,738	5,832	6,258
			実績額	0	2,142	1,896	2,576	6,374	-
			執行率	0.0%	123.4%	122.8%	68.9%	109.3%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	1,451	1,470	1,471	1,523	2,322	2,944
			実績額	1,470	2,280	1,904	2,322	2,944	-
			執行率	101.3%	155.1%	129.4%	152.5%	126.8%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	14,914	10,559	16,218	13,872	16,845	17,893
			実績額	10,677	9,455	15,179	11,694	17,683	-
			執行率	71.6%	89.5%	93.6%	84.3%	105.0%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	14,914	10,559	16,218	13,872	16,845	17,893
			実績額	10,677	9,455	15,179	11,694	17,683	-
			執行率	71.6%	89.5%	93.6%	84.3%	105.0%	-



特記事項

防火設備整備補助は、施工内容によるため、実施された工事内容の結果として、前年度から事業費が増加となりました。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	219
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	防火設備整備助成	2	所	5,200	
	障害者グループホームマッチングコーディネート事業			3,000	
	その他（ 居住支援協議会障害者専門部会分担金				） 165
取組成果	障害者グループホームマッチングコーディネート事業により、令和7年度は7件のグループホームが開設されました。整備促進の結果、障害種別と程度が軽度知的及び精神を対象としたグループホームは、区民の利用希望者に対する必要数を確保できています。また重度知的障害及び身体障害を対象としたグループホームに関しても事業者と調整し、令和8年度以降開設を予定しています。開設後は重度知的障害の男性向け以外は、区民の利用希望者に対する必要数を確保ができるようになります。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	障害種別と程度が軽度知的及び精神を対象としたグループホームは、必要な施設数を開設できており、重度知的障害及び身体障害を対象とするグループホームも開設を予定しています。 引き続き、必要な障害種別のグループホーム開設の促進を継続するとともに、グループホームの必要数が確保できている状況から、グループホームの支援の質の向上や、一般賃貸を含むグループホーム以外の居住形態への支援にも取り組んでいきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者施設入所者等に対する健診						款 04	項 05	目 01	事業 003	整理番号	301
現担当課名	保健サービス課				係名	管理係		連絡先 電話番号		4 5 2 6	昨年度 整理番号	293
上位施策No・施策名	17	障害者の社会参加と地域生活の支援						予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成21年度		分野	05	施策	17	計画事業					
令和7年度 担当課名	保健サービス課							事業評価区分		一般		

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

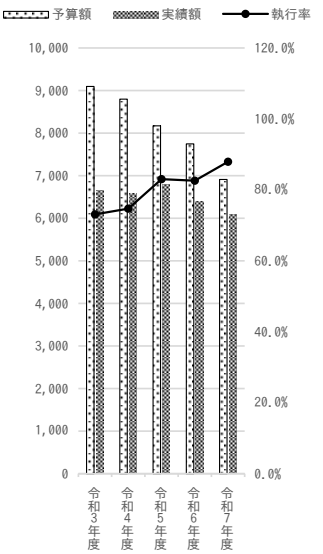
対象	根拠法令等 地域保健法 杉並区障害者施設等健康診査実施要領
区内の障害者施設等の入所者・通所者で他に健康診査の機会のない 区民	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○民間の健診機関では対応困難な障害者に対して健康診査の機会を提供し、障害者の健康管理に役立つ指導を実施する。	○荻窪、高井戸、高円寺の各保健センターで施設入所者・通所者の健康増進や自己管理を目的に必要な検査等を行い、その結果に基づいて、個別及び施設の健康管理責任者に説明や指導を行う。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	健診受診者数		人	計画	300	300	300	300
				実績	294	308	291	-
				達成率	98.0%	102.7%	97.0%	-
	指導施設数		所	計画	20	20	20	20
				実績	22	22	22	-
成果指標	健診受診者数対前年度比		%	計画	100	100	100	100
				実績	108.9	104.7	94.4	-
				達成率	108.9%	104.7%	94.4%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	指導実施率	指導施設数÷異常発見施設数	%	計画	100	100	100	100
				実績	100	100	100	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
	分類	行政サービス成果指標						

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	9,096	8,798	8,171	7,747	6,911	8,428
			実績額	6,649	6,573	6,784	6,398	6,077	-
			執行率	73.1%	74.7%	83.0%	82.6%	87.9%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	8,163	11,904	3,908	3,261	3,231	3,371
			実績額	7,892	6,283	3,944	3,453	3,371	-
			執行率	96.7%	52.8%	100.9%	105.9%	104.3%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	1,814	1,470	1,471	1,904	2,322	2,159
			実績額	1,838	1,839	1,523	2,089	2,453	-
			執行率	101.3%	125.1%	103.5%	109.7%	105.6%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	19,073	22,172	13,550	12,912	12,464	13,958
			実績額	16,379	14,695	12,251	11,940	11,901	-
			執行率	85.9%	66.3%	90.4%	92.5%	95.5%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	19,073	22,172	13,550	12,912	12,464	13,958
			実績額	16,379	14,695	12,251	11,940	11,901	-
			執行率	85.9%	66.3%	90.4%	92.5%	95.5%	-

事業費の年度推移



特記事項

医師、看護師等の謝礼金の支出が少なく予算執行残となりました。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	301
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	医師及び看護師等謝礼の支出	3	所	4,429	
	血液等検査委託	3	所	750	
	検診用品、検査材料の購入	3	所	314	
	心電計保守点検委託、心電計賃貸借	3	所	525	
	その他（ 郵券の購入			59	
取組成果	障害者施設健診は、3センター（荻窪、高井戸、高円寺）で実施し、民間の健診機関では対応困難な障害者に対して健康診査の機会を提供できました。また、健診結果に異常が見られた場合に指導を行いました。従事医師の高齢化が顕著になり、従事者の確保が困難となっていることなどから、事業の改善策について、23区の実施状況調査をもとに、関係部署と実施方法の検討を始めました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	健診受診者の在籍する施設は毎年ほぼ同じです。従事医師の高齢化が顕著となり、また、医師の働き方改革等の影響もあり実施体制を維持することが困難になっていることから、事業の実施体制についての検討がさらに必要となっています。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力